

第7回川崎市地域福祉実態調査 報告書 多摩区版

令和8年3月

川 崎 市

目 次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の設計.....	1
3 回収結果.....	1
4 調査結果の表示方法.....	1
II 調査結果.....	2
(1) 回答者の基本属性について.....	2
(2) 「川崎市地域福祉計画」について.....	9
(3) 居住地域について.....	10
(4) 地域共生社会について.....	24
(5) 認知症について.....	25
(6) 地域活動やボランティア活動について.....	32
(7) 保健・福祉に関することについて.....	38
(8) 防災に対する意識と備えについて.....	41
(9) 今後の地域福祉の推進について.....	44

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査（第7回）は、市民の地域福祉に関する意識を多面的に調査することにより、地域における生活課題を明らかにし、『第8期川崎市地域福祉計画』の策定に必要な基礎資料を得ることを目的とします。

2 調査の設計

調 査 種 別	項 目	内 容
地域の生活課題に関する調査	対象者数	18歳以上の男女7,000人（各区1,000人を基本とした）
	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
	調査方法	郵送配布・WEB回答（礼状形式の督促1回実施）※70歳以上及び希望者には紙のアンケート調査票を送付
	調査時期	令和7年10月27日～令和7年11月30日
		・基本属性について ・「川崎市地域福祉計画」について ・居住地域について ・地域共生社会について ・認知症について ・地域活動やボランティア活動について ・保健・福祉に関することについて ・防災に対する意識と備えについて ・今後の地域福祉の推進について

3 回収結果

区名	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	不明	全市
配布数（人）	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	7,000
有効回収数（人）	406	491	439	454	465	417	445	12	3,129
有効回収率	40.6%	49.1%	43.9%	45.4%	46.5%	41.7%	44.5%	-	44.7%
（参考）第6回収率	30.3%	36.3%	34.6%	34.1%	35.9%	33.2%	37.1%	-	35.0%

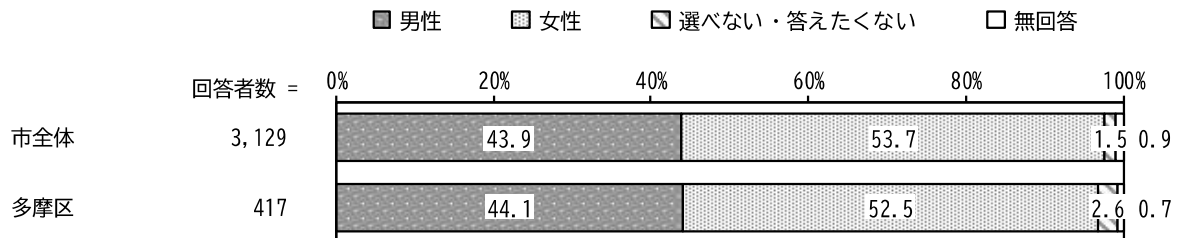
4 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合があります。

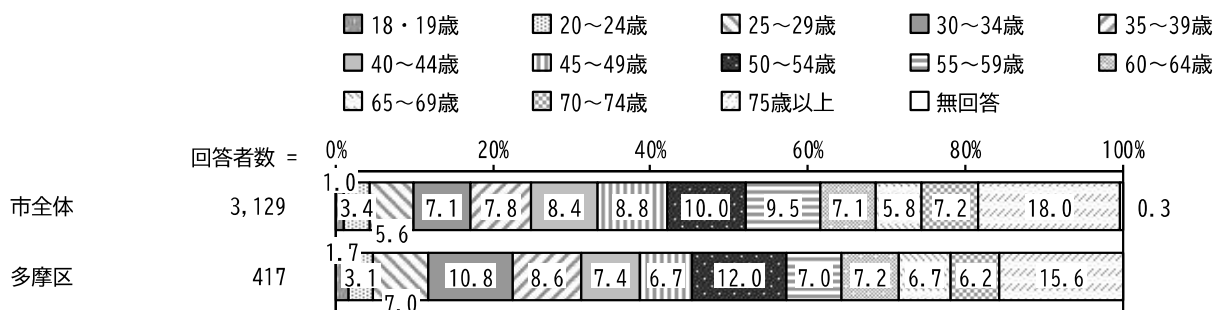
Ⅱ 調査結果

(1) 回答者の基本属性について

問1 性別を教えてください。(○は1つだけ)

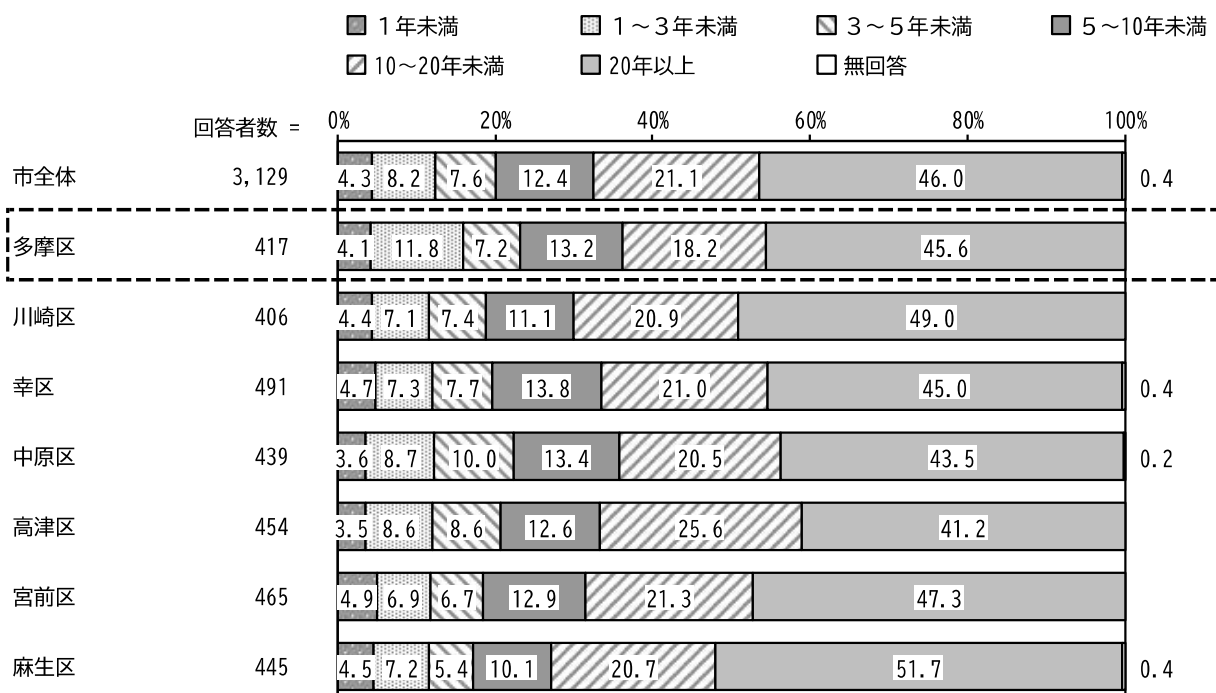


問2 年齢は満何歳ですか。(○は1つだけ)



※問3については、地区を選択する設問のため、地区版では省略します。

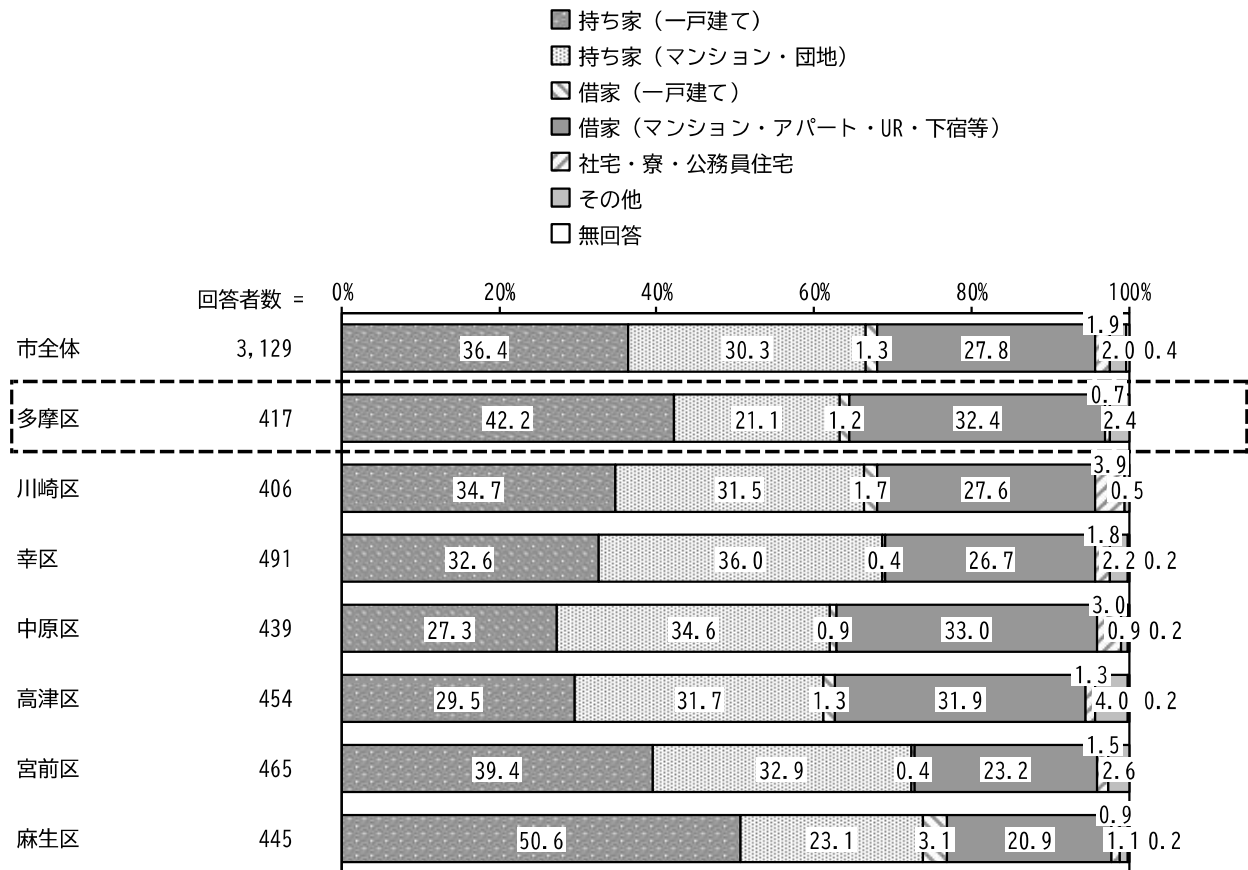
問4 現在お住まいの区には何年住んでいますか。(○は1つだけ)



問5 現在のお住まいの形態を教えてください。(〇は1つだけ)

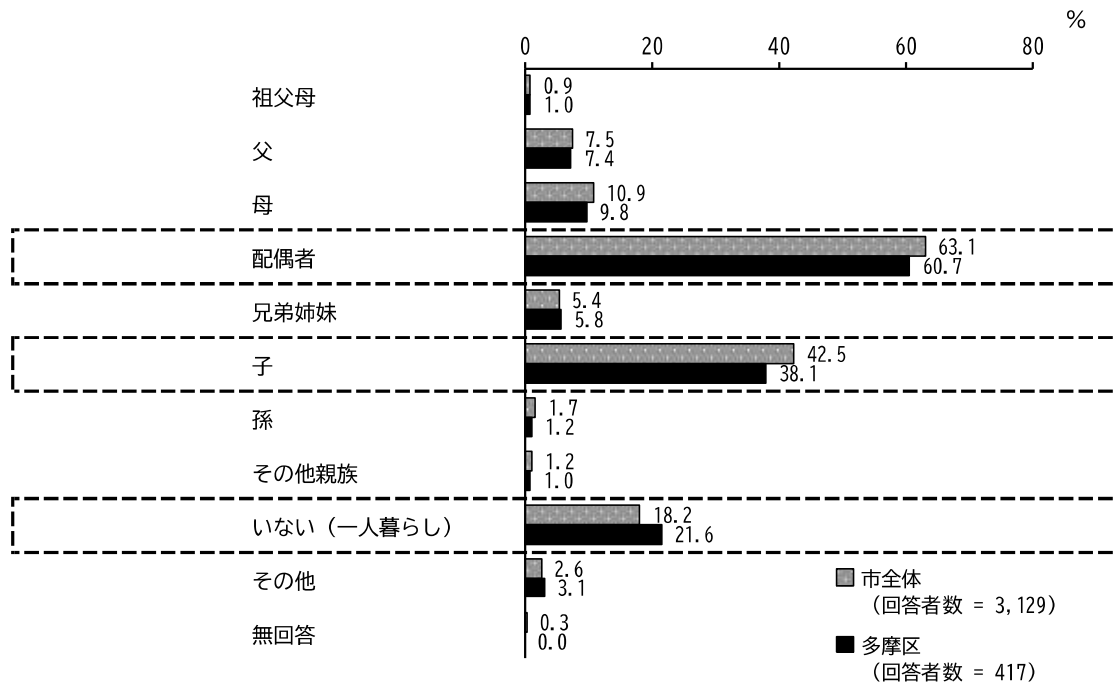
多摩区では「持ち家（一戸建て）」の割合が42.2%と最も高く、次いで「借家（マンション・アパート・UR・下宿等）」の割合が32.4%、「持ち家（マンション・団地）」の割合が21.1%となっています。

他区と比較すると、「持ち家（マンション・団地）」「社宅・寮・公務員住宅」の割合が最も低く、「持ち家（一戸建て）」「借家（マンション・アパート・UR・下宿等）」の割合が2番目に高くなっています。

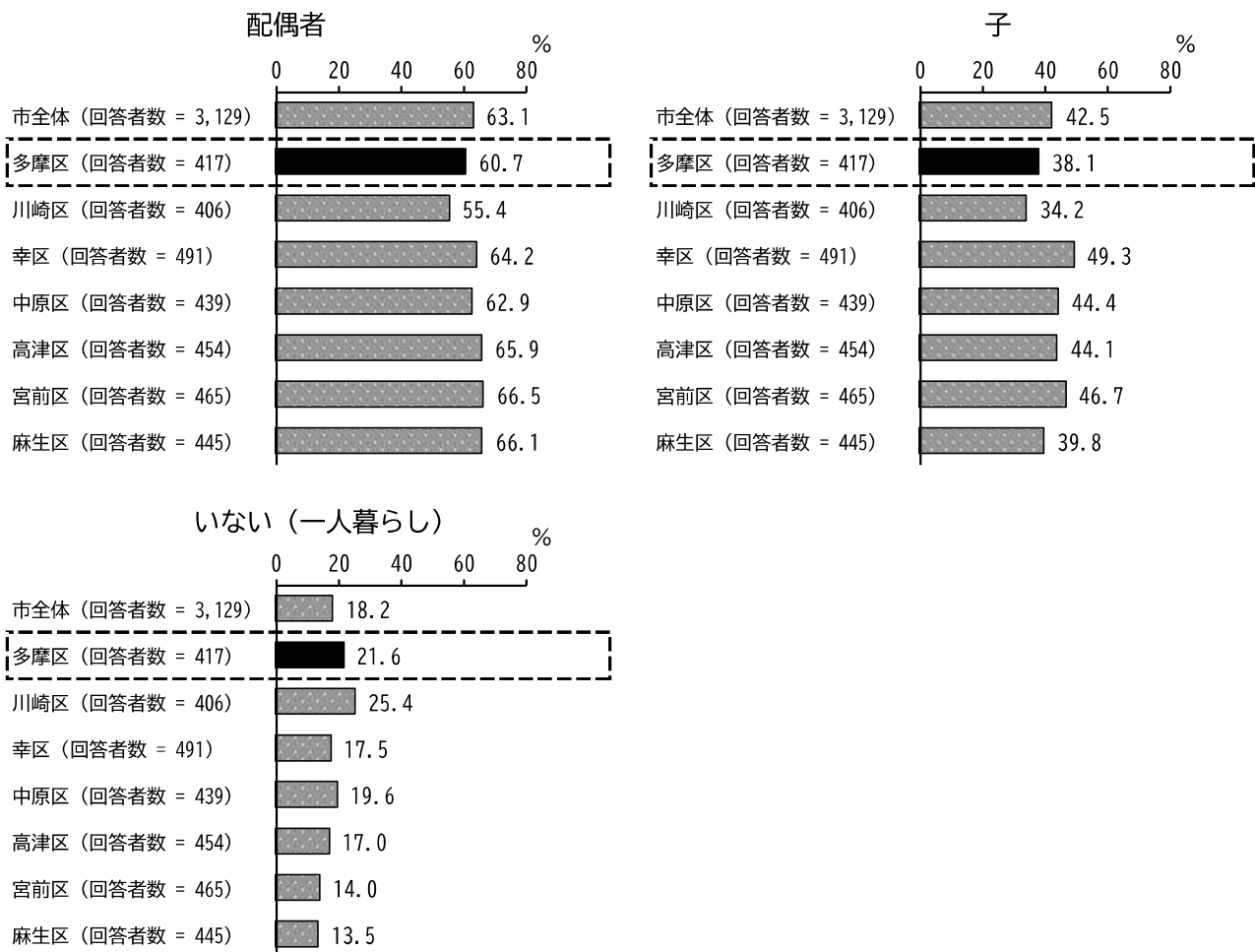


問6 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「配偶者」の割合が60.7%と最も高くなっています。また、「子」の割合が市全体を4.4ポイント下回っており、「いない（一人暮らし）」の割合が市全体を3.4ポイント上回っています。

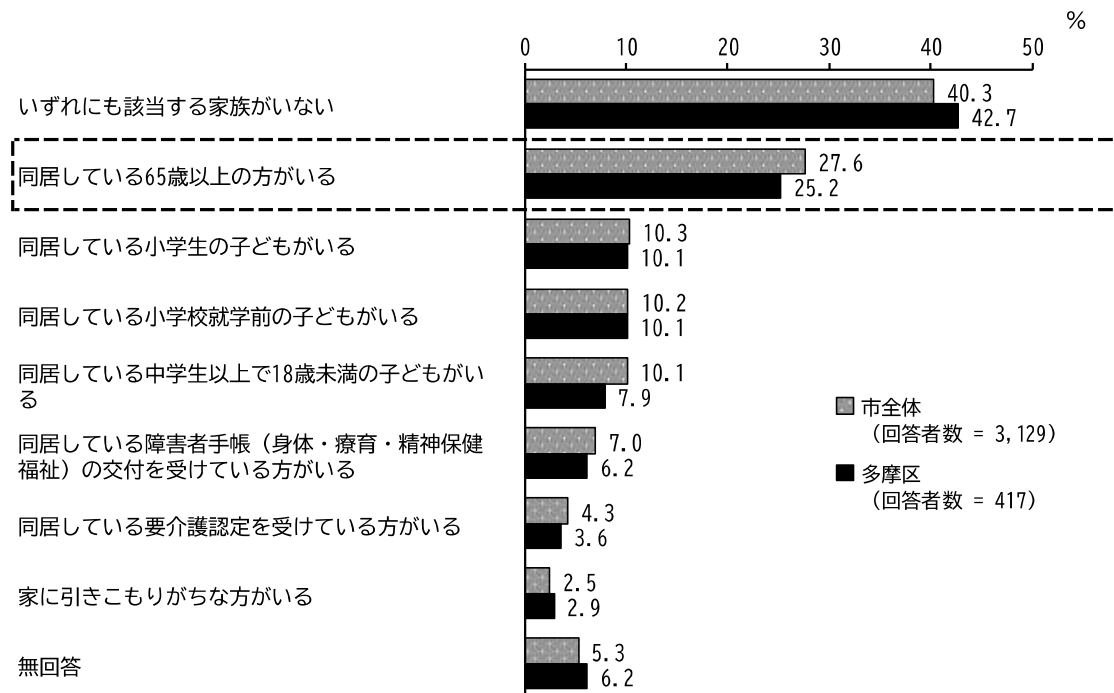


【参考】



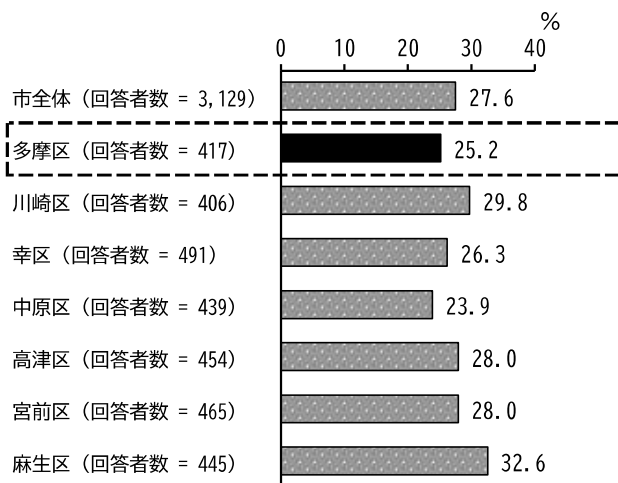
問7 一緒に暮らしているご家族（あなたを含む）のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

多摩区では、「同居している 65 歳以上の方がいる」の割合が市全体を 2.4 ポイント下回っています。



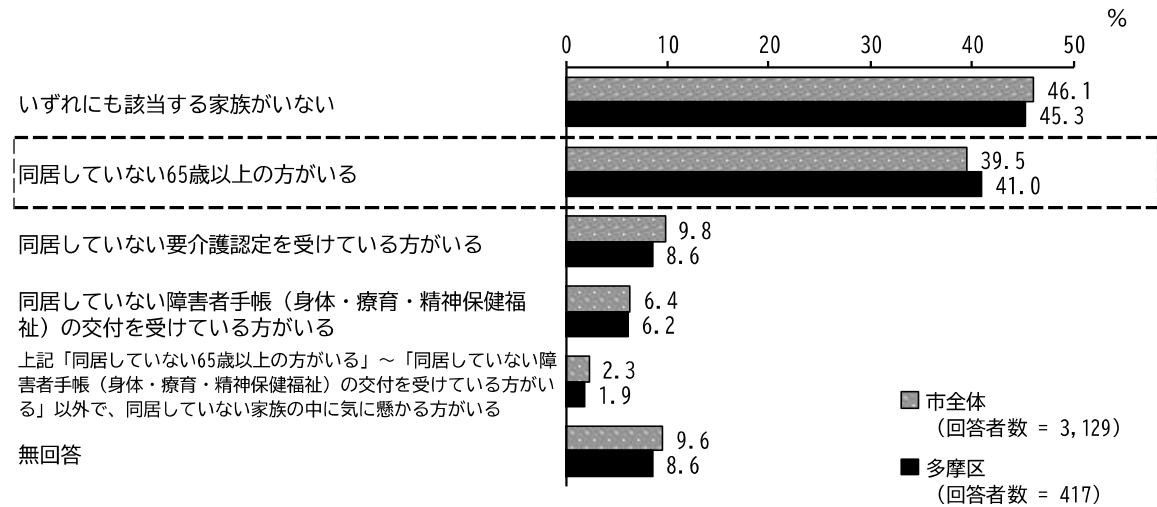
【参考】

同居している 65 歳以上の方がいる



問7-1 同居していないご家族を含め、ご家族のうち、以下の項目に該当する方は、いらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

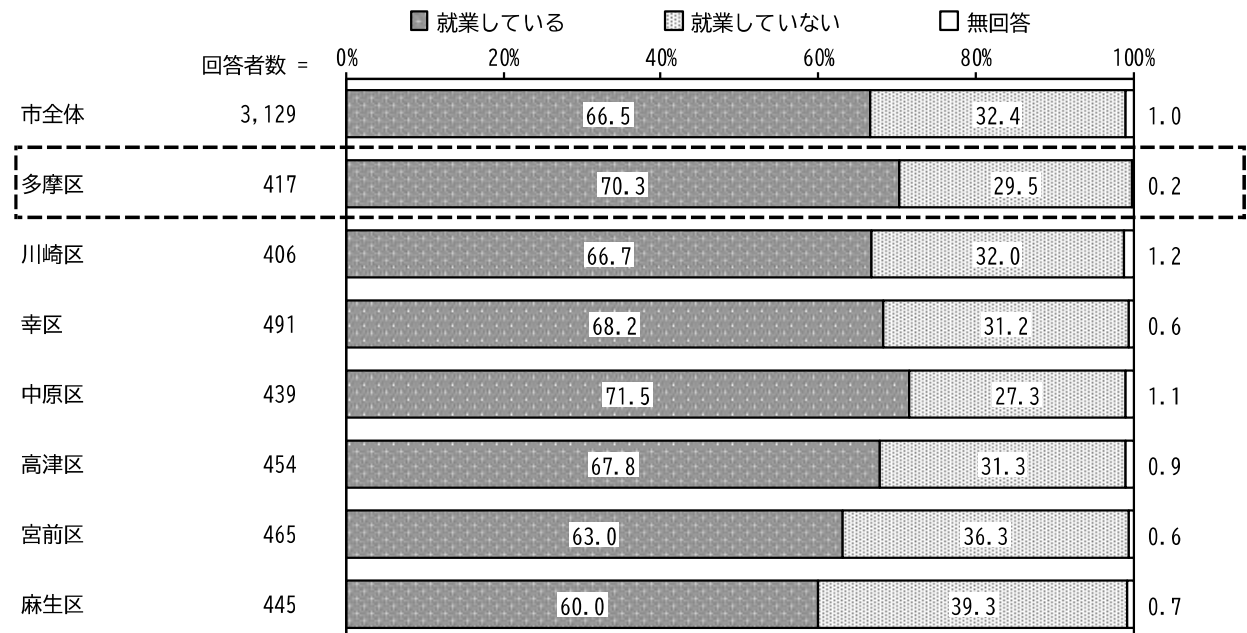
多摩区では、該当する方がいる人のうち、「同居していない65歳以上の方がいる」の割合が41.0%と最も高くなっています。



問8 就業の状況はどれに該当しますか。(○は1つだけ)

ア 就業状況

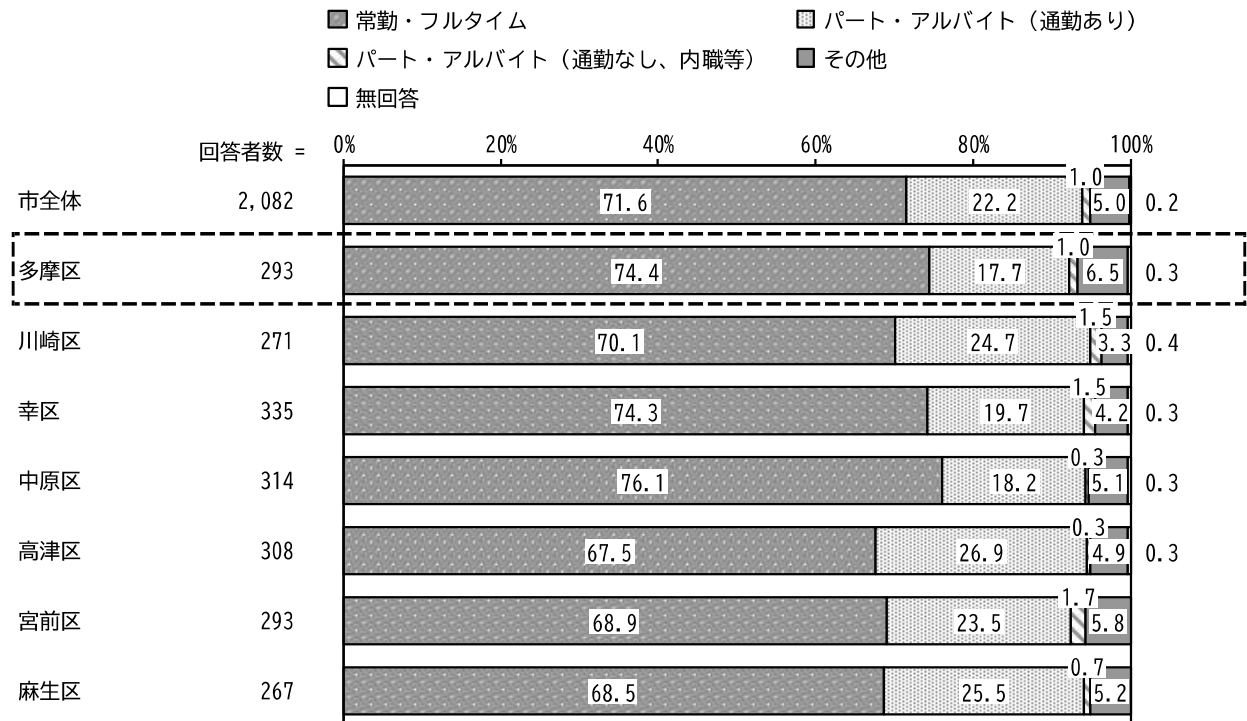
多摩区では「就業している」の割合が70.3%、「就業していない」の割合が29.5%となっています。他区と比較すると、「就業している」の割合が2番目に高くなっています。



「就業の状況で「就業している」と回答した人が対象」

イ 就業形態

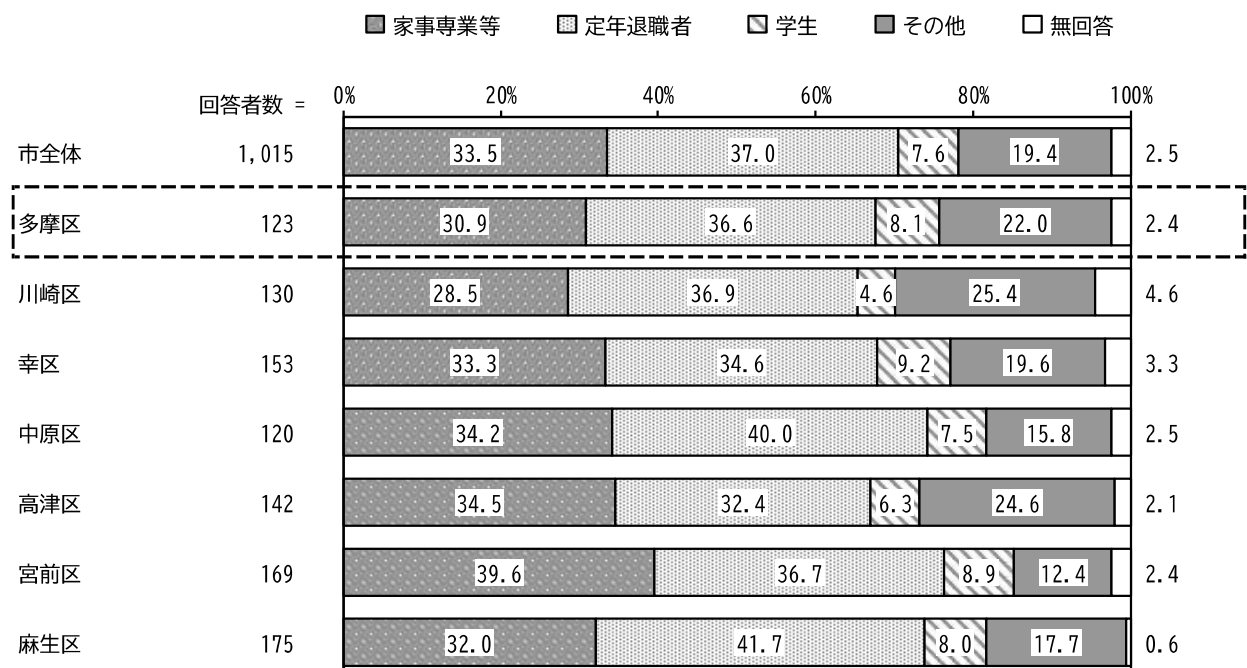
多摩区では「常勤・フルタイム」の割合が74.4%、「パート・アルバイト（通勤あり）」の割合が17.7%、「パート・アルバイト（通勤なし、内職等）」の割合が1.0%となっています。



「就業の状況で「就業していない」と回答した人が対象」

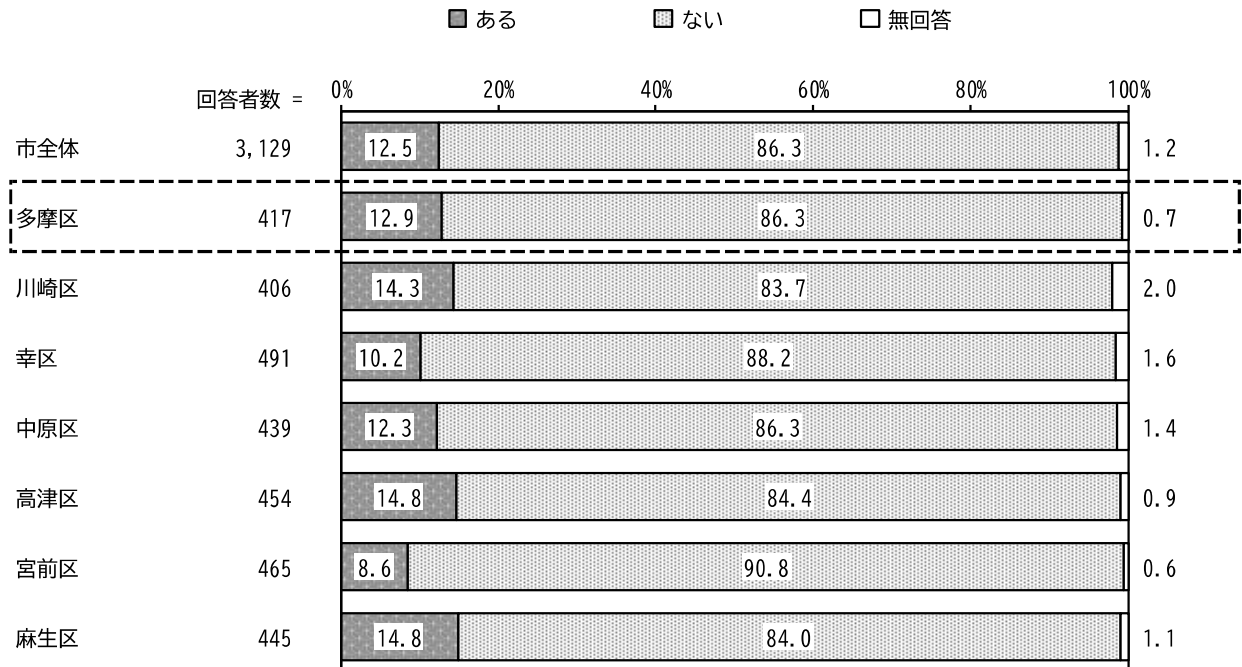
ウ 就業していない理由

多摩区では「家事専業等」の割合が30.9%、「定年退職者」の割合が36.6%、「学生」の割合が8.1%となっています。



問9 あなたは現在、健康上の問題で6か月以上の期間にわたり、日常生活に何か影響がありますか。(○は1つだけ)

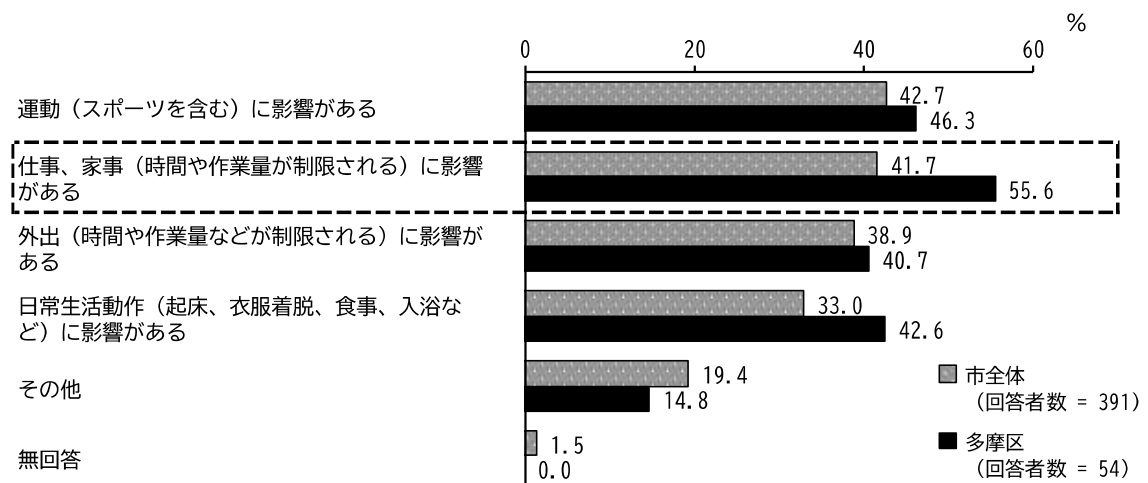
多摩区では「ある」の割合が12.9%、「ない」の割合が86.3%となっています。
他区と比較すると、「ない」の割合が3番目に高くなっています。



《健康上の問題で6か月以上の期間にわたり、日常生活に何か影響が「ある」と回答した人が対象》

問9-1 それはどのようなことに影響がありますか。(あてはまるものすべてに○)

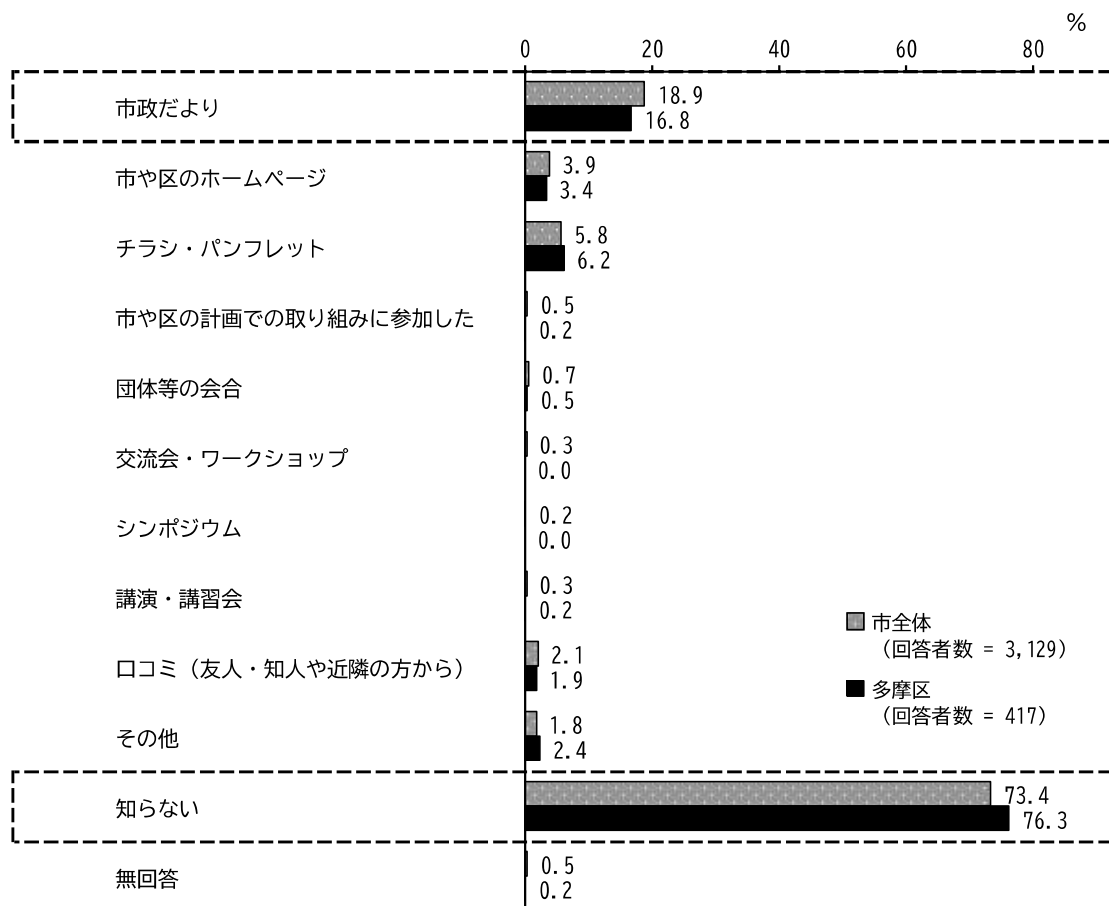
多摩区では「仕事、家事（時間や作業量が制限される）に影響がある」の割合が55.6%と最も高く、市全体を13.9ポイント上回っています。



(2)「川崎市地域福祉計画」について

問 10 あなたは、川崎市地域福祉計画を何で知りましたか。計画について知らない場合は「知らない」を選択してください。(あてはまるものすべてに○)

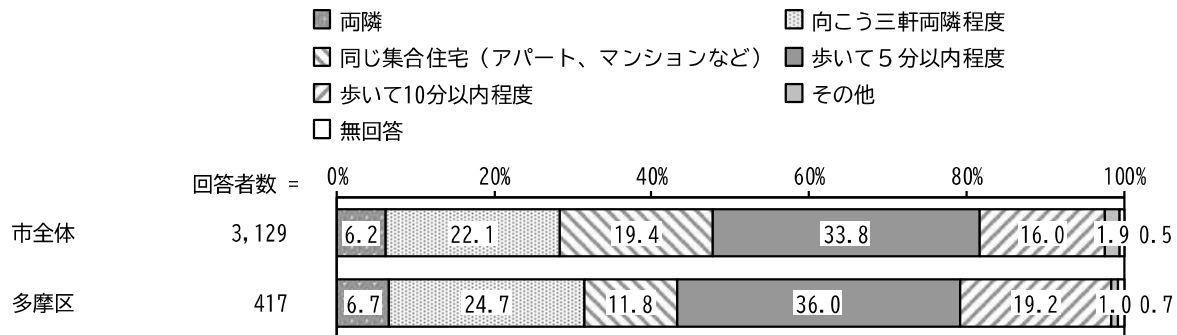
多摩区では「知らない」の割合が76.3%と最も高く、計画を知っている回答者の情報入手経路では、「市政だより」で知った割合が最も高い16.8%となっています。



(3) 居住地域について

問 11 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(○は1つだけ)

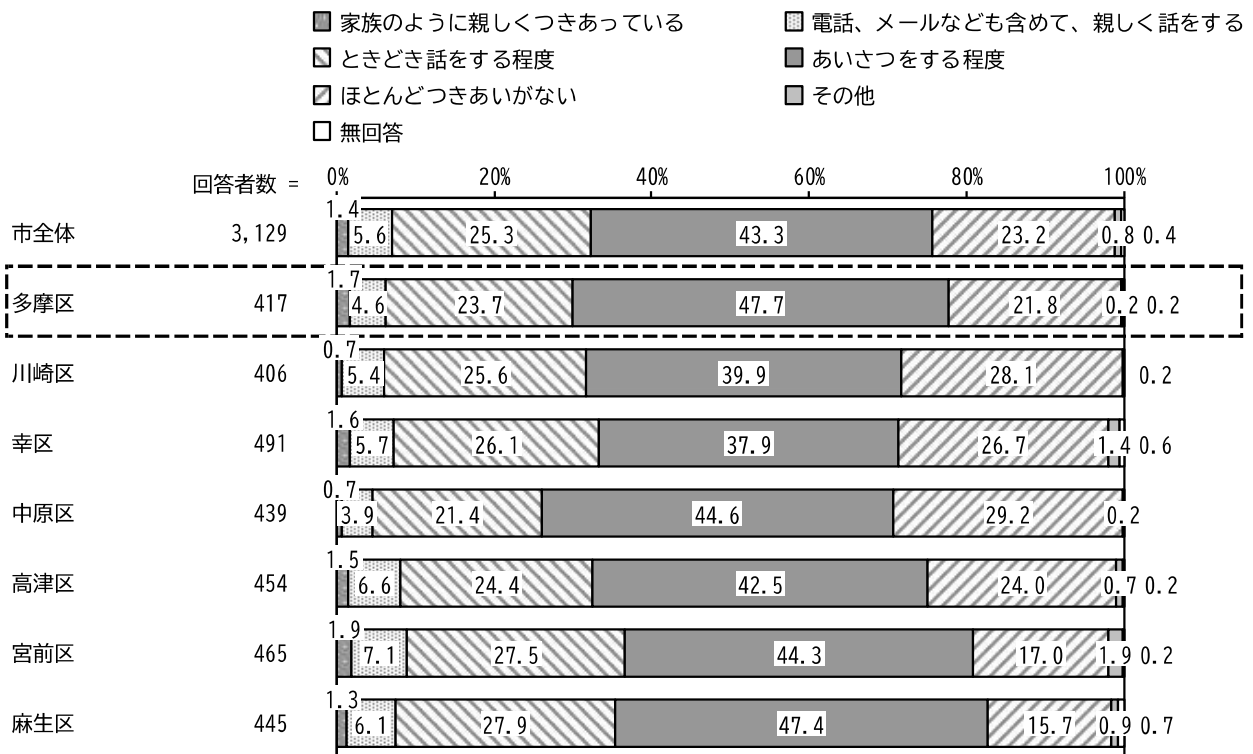
多摩区では「歩いて5分以内程度」の割合が36.0%と最も高くなっています。また、「同じ集合住宅(アパート、マンションなど)」の割合が市全体を7.6ポイント下回っており、「歩いて10分以内程度」の割合が市全体を3.2ポイント上回っています。



問 12 あなたは、ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

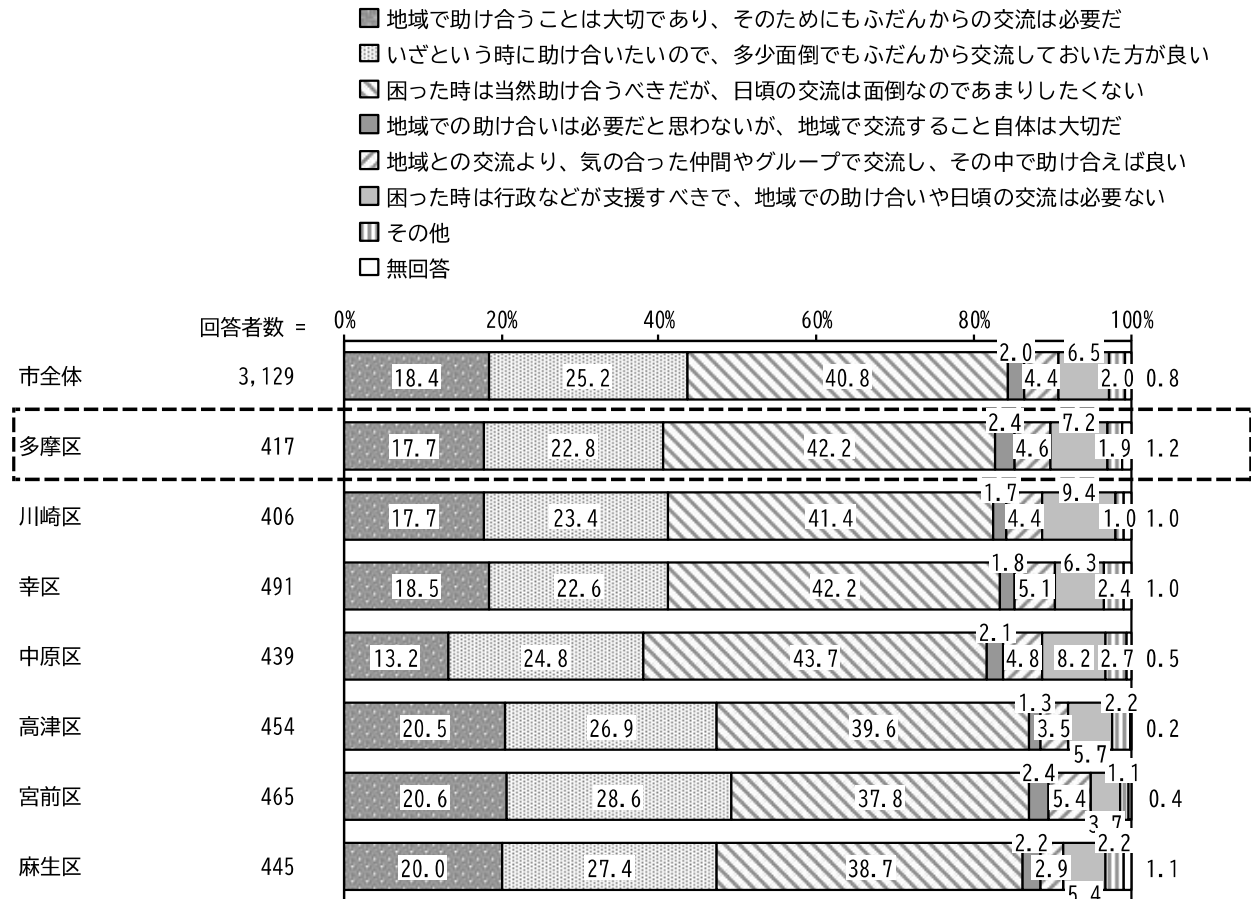
多摩区では「あいさつをする程度」の割合が47.7%と最も高くなっています。

他区と比較すると、「あいさつをする程度」の割合が最も高く、「家族のように親しくつきあっている」の割合が2番目に高くなっています。



問 13 あなたは、近所つきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。(〇は1つだけ)

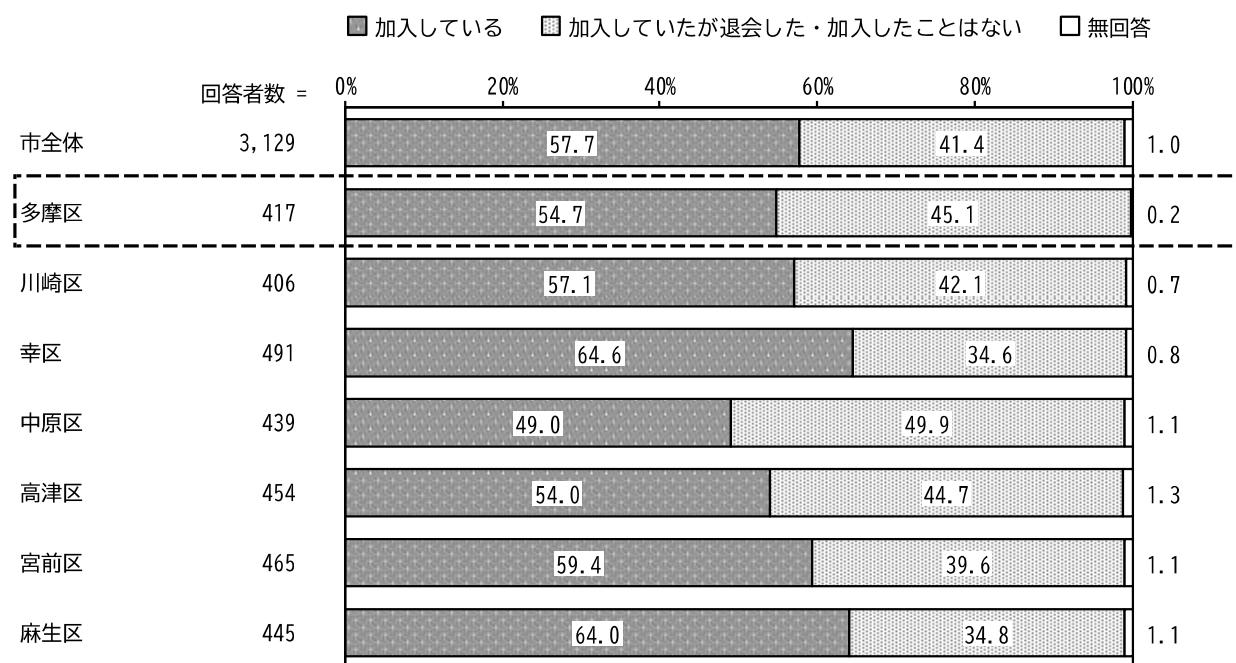
多摩区では「困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない」の割合が42.2%と最も高くなっています。また、「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」、「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい」を合わせた割合が40.5%で、市全体(43.6%)を3.1ポイント下回っています。



問 14 現在、町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

多摩区では「加入している」の割合が 54.7%、「加入していたが退会した・加入したことはない」の割合が 45.1%となっています。

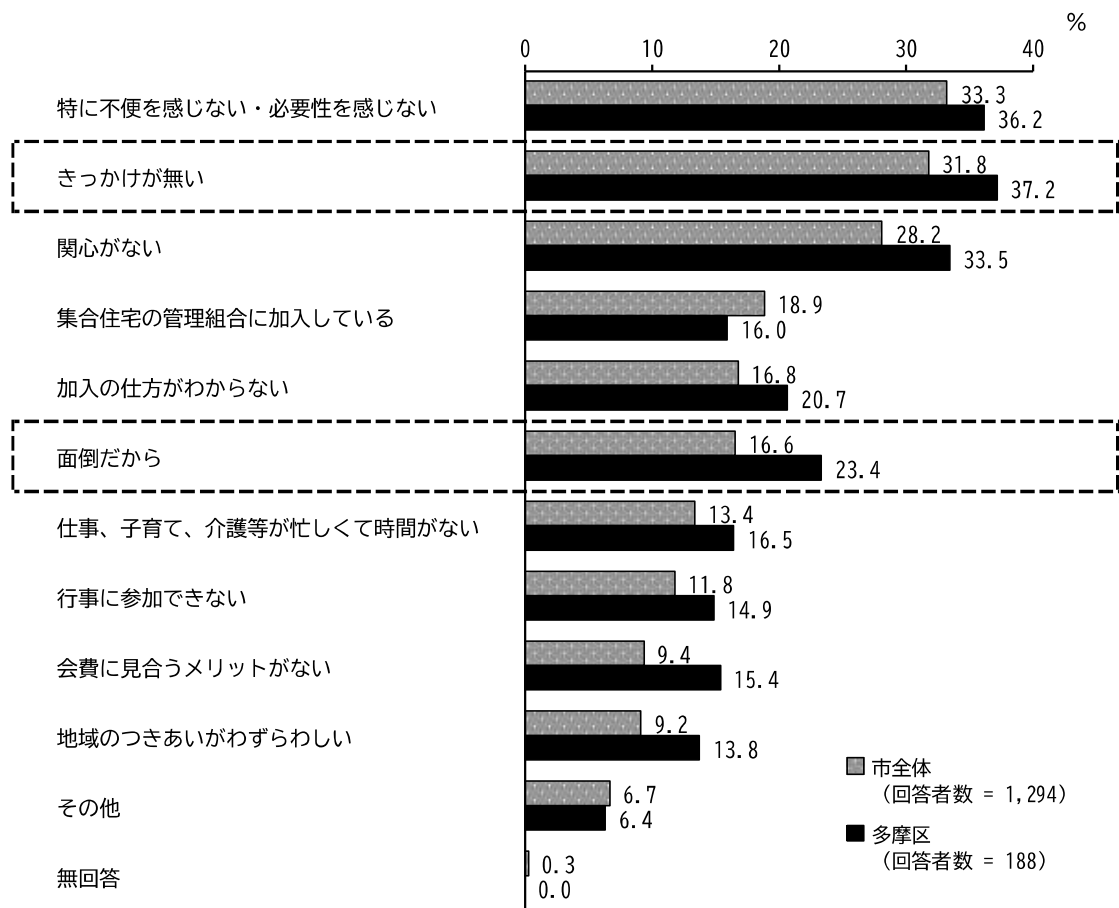
他区と比較すると、「加入していたが退会した・加入したことはない」の割合が2番目に高くなっています。



《町内会・自治会に「加入していたが退会した・加入したことはない」と回答した人が対象》

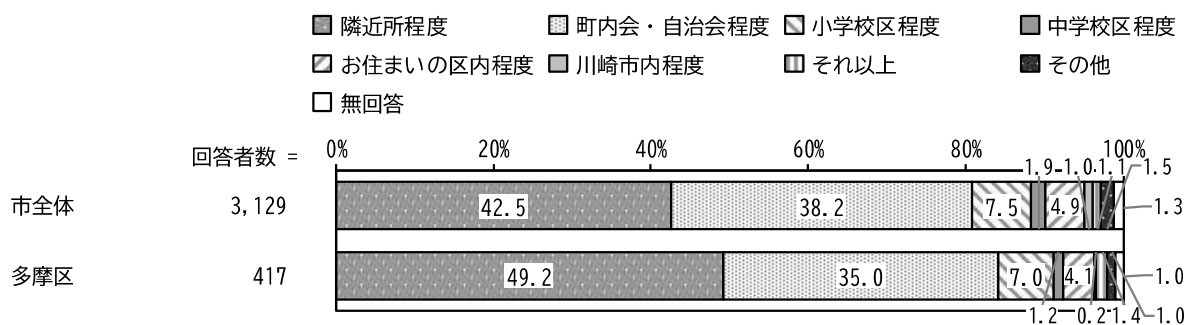
問 14－ 1 現在加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

多摩区では「きっかけが無い」の割合が 37.2%と最も高くなっています。また、「面倒だから」の割合が市全体を 6.8 ポイント上回っています。



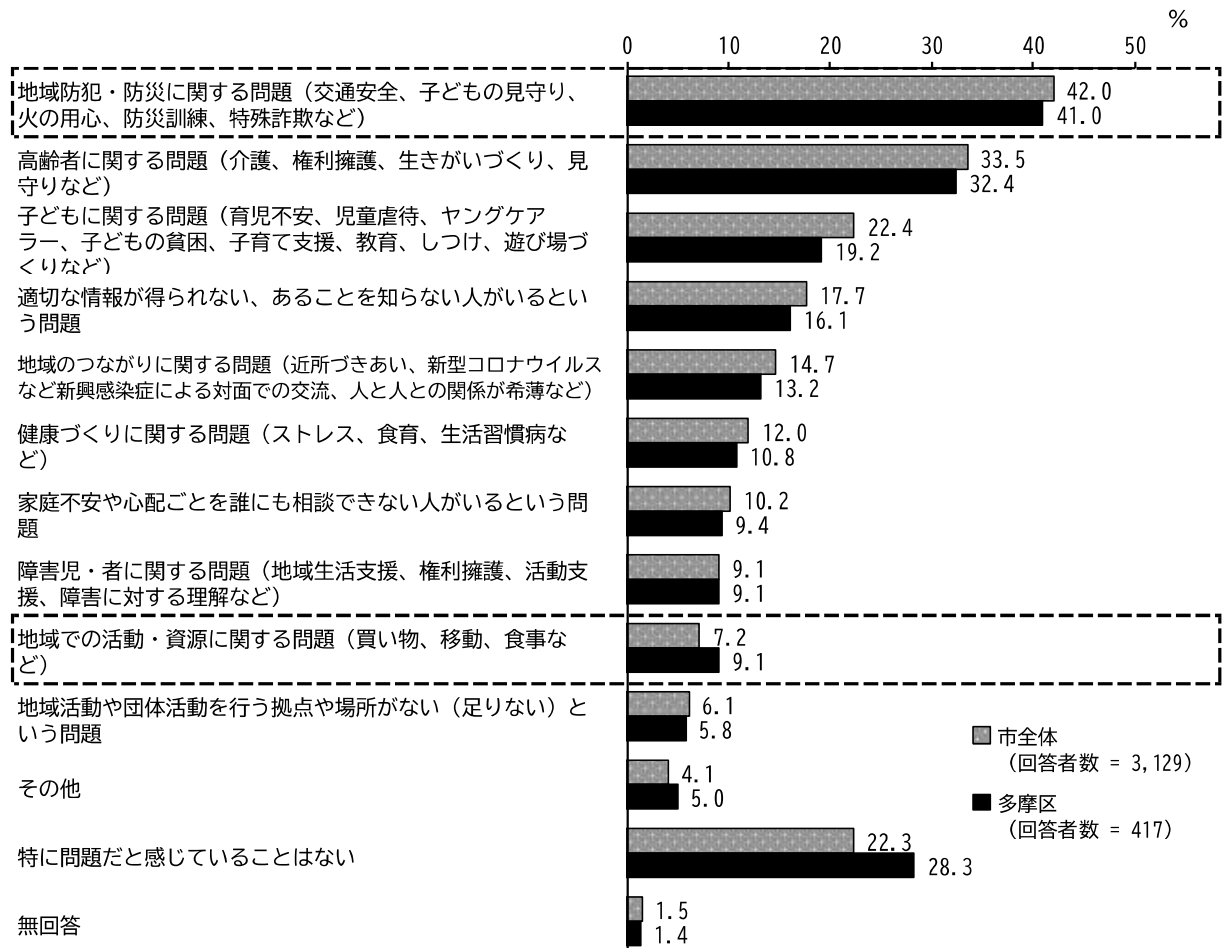
問 15 あなたは、助け合いをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（○は1つだけ）

多摩区では「隣近所程度」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「町内会・自治会程度」の割合が 35.0%となっています。また、「町内会・自治会程度」が市全体を 3.2 ポイント下回っており、「隣近所程度」の割合が市全体を 6.7 ポイント上回っています。



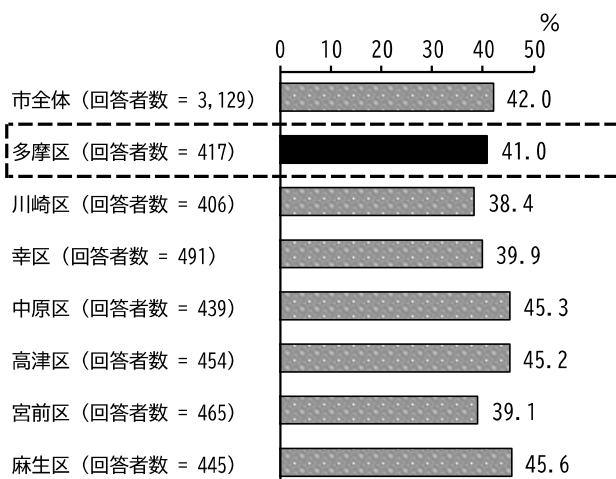
問 16 あなたは、その「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「地域防犯・防災に関する問題」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「高齢者に関する問題」の割合が 32.4%、「子どもに関する問題」の割合が 19.2%となっています。また、「地域での活動・資源に関する問題」の割合が市全体を 1.9 ポイント上回っています。

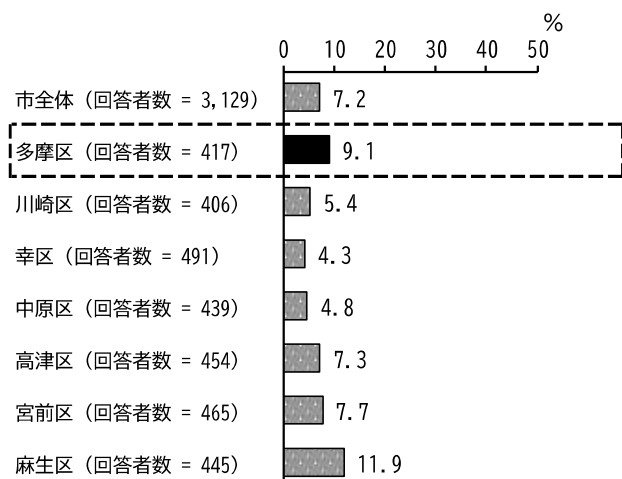


【参考】

地域防犯・防災に関する問題

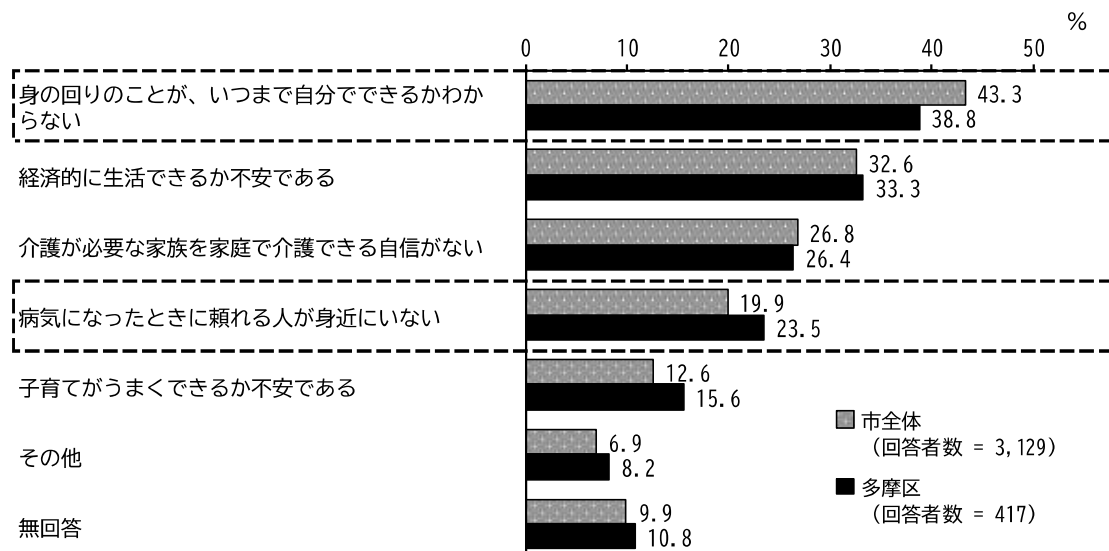


地域での活動・資源に関する問題



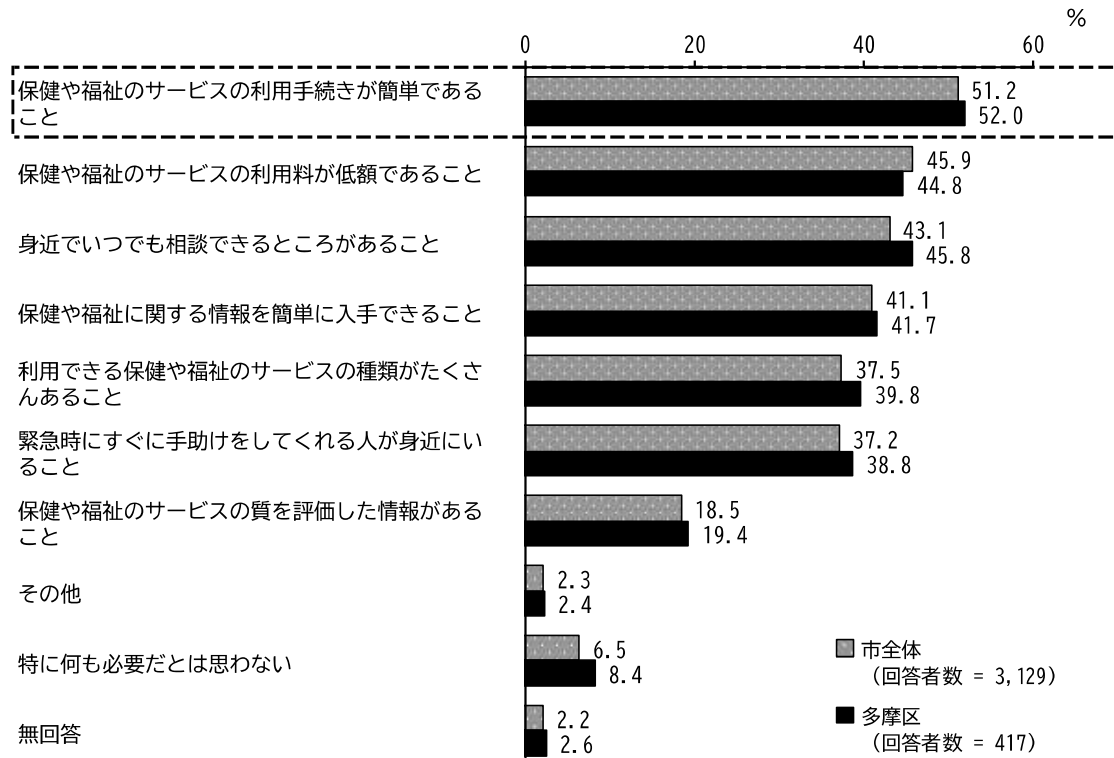
問 17 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない」の割合が 38.8%と最も高くなっています。また、「病気になったときに頼れる人が身近にいない」の割合が市全体を 3.6 ポイント上回っています。



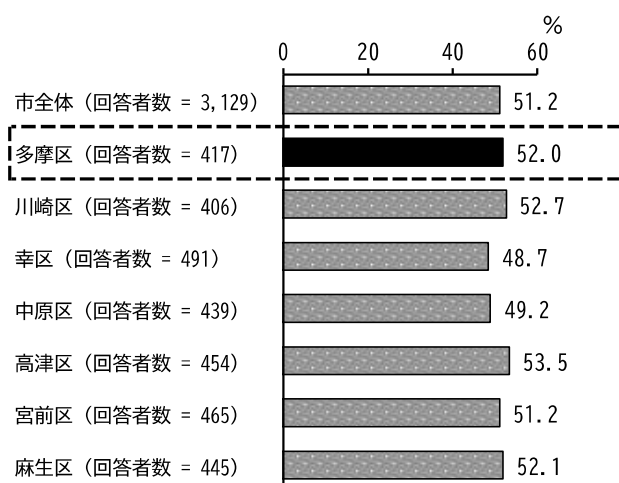
問 18 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「身近でいつでも相談できるところがあること」の割合が 45.8%、「保健や福祉のサービスの利用料が低額であること」の割合が 44.8%となっています。



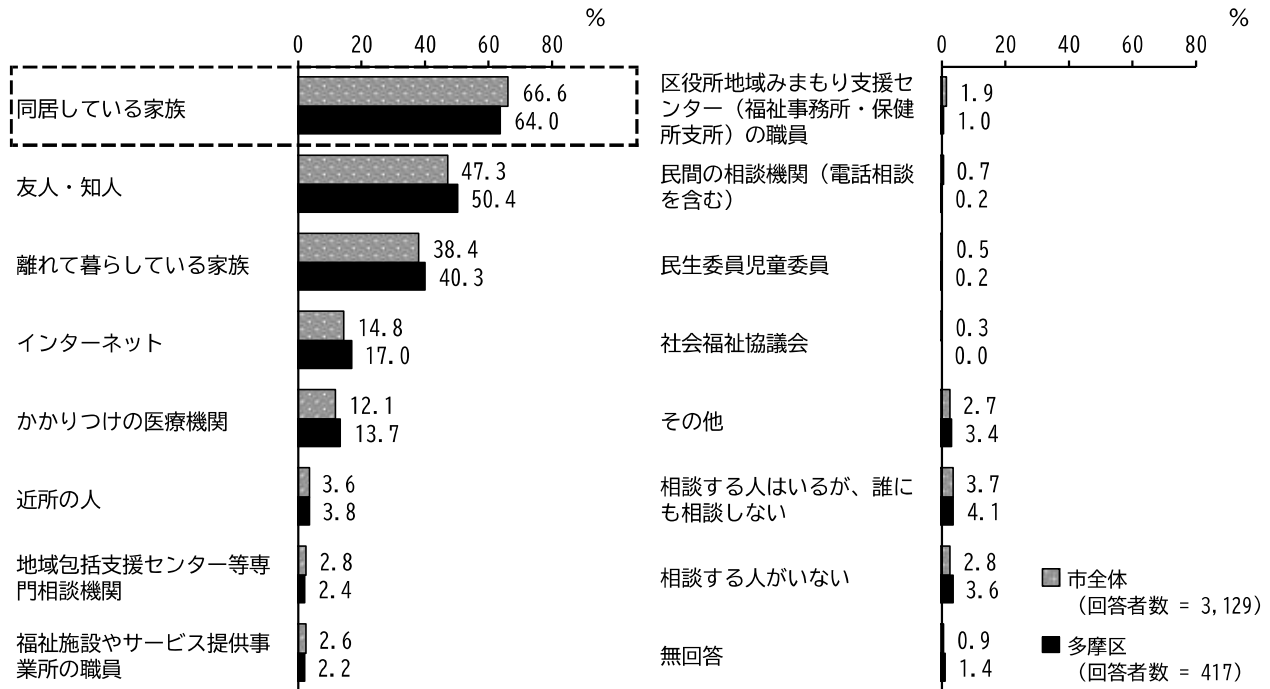
【参考】

保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること



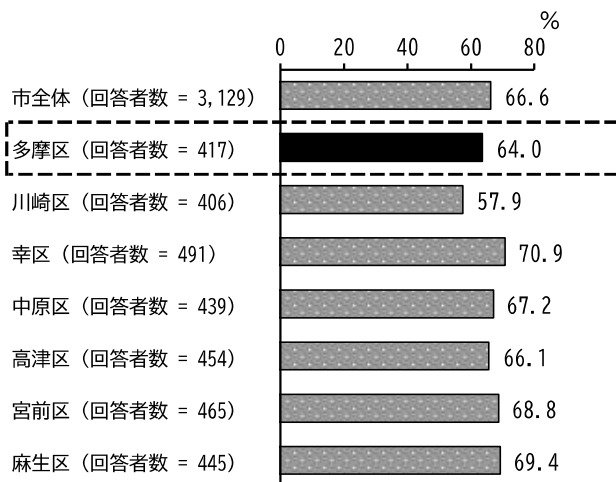
問 19 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「同居している家族」の割合が 64.0%と最も高くなっています。



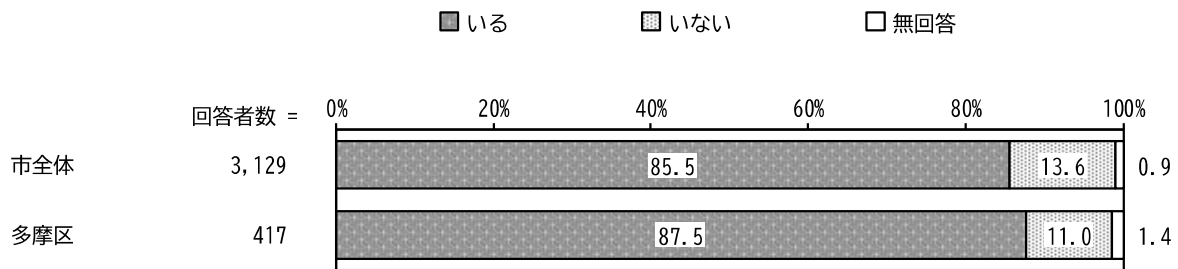
【参考】

同居している家族



問 20 あなたには、友人と呼べる人がいますか。(○は1つだけ)

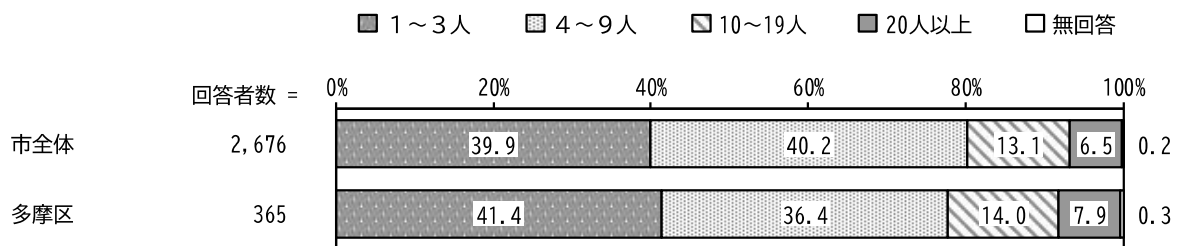
多摩区では「いる」の割合が87.5%、「いない」の割合が11.0%となっています。



《友人と呼べる人が「いる」と回答した人が対象》

問 20-1 何人くらいいますか。(○は1つだけ)

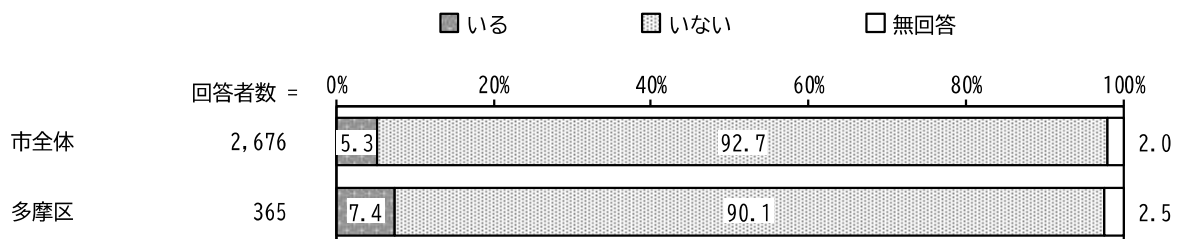
多摩区では「1～3人」の割合が41.4%と最も高くなっています。また、「4～9人」の割合が市全体を3.8ポイント下回っています。



《友人と呼べる人が「いる」と回答した人が対象》

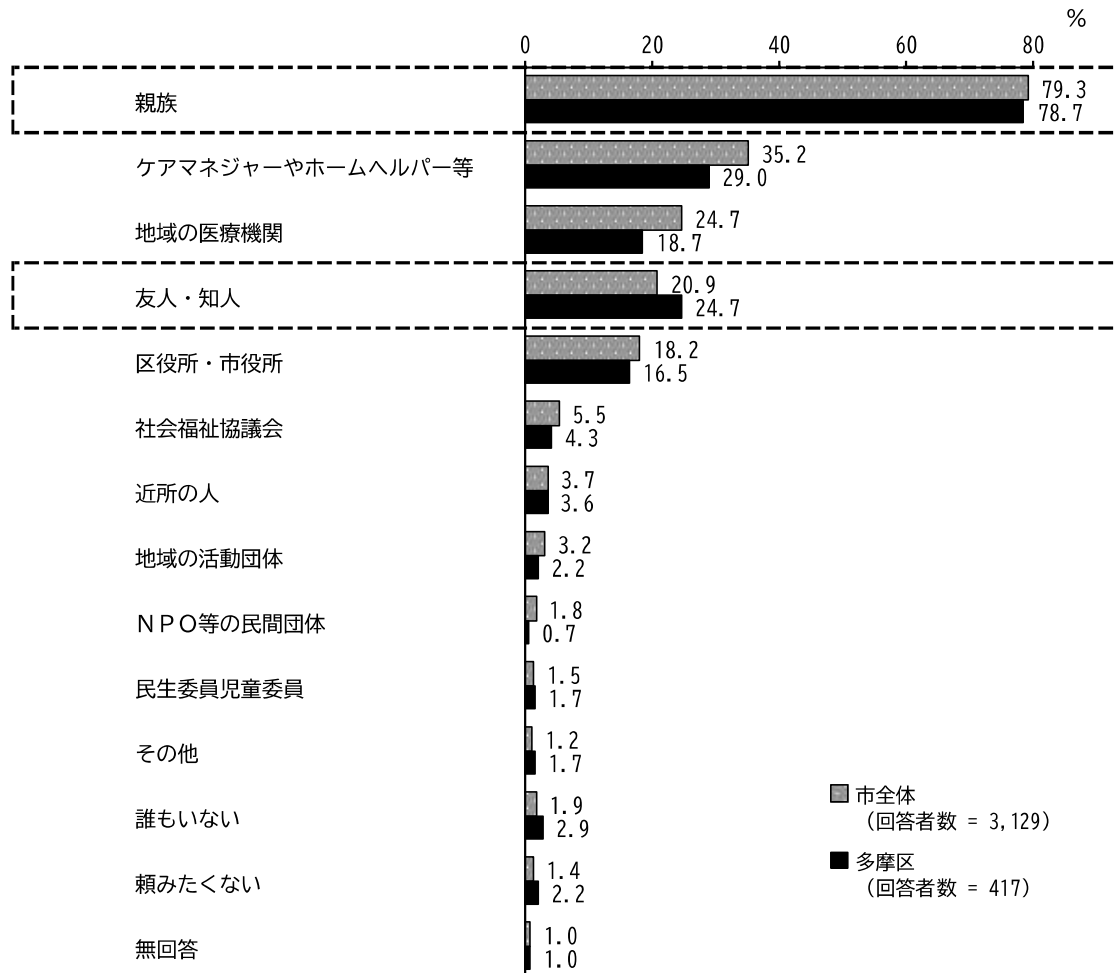
問 20-2 その中で、実際に会ったことのないインターネット上の友人はいますか。(○は1つだけ)

多摩区では「いる」の割合が7.4%、「いない」の割合が90.1%となっています。

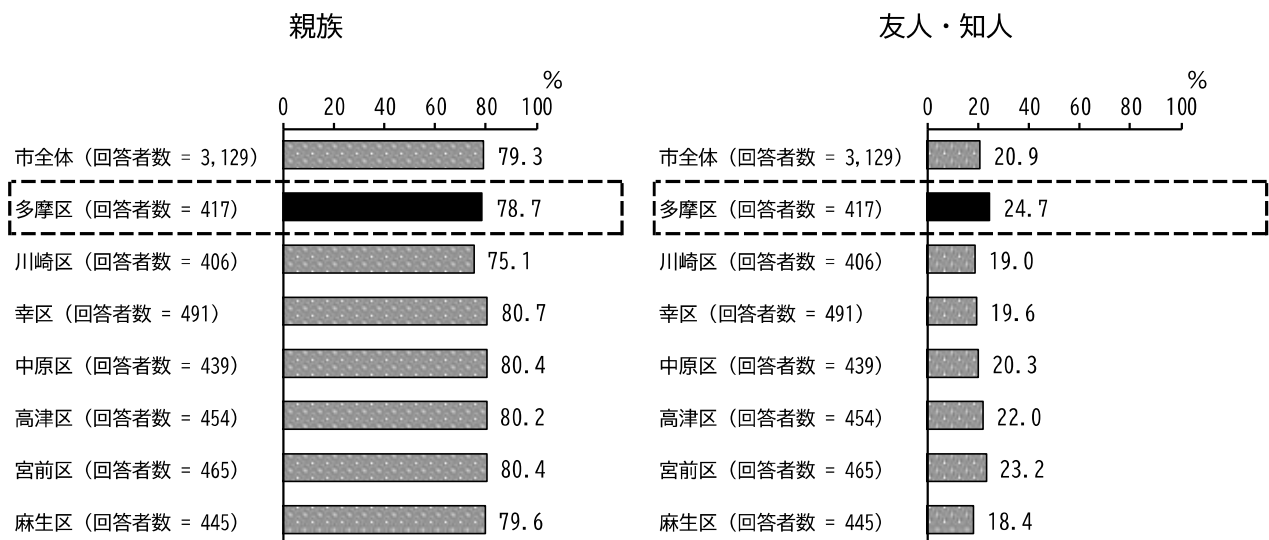


問 21 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。(〇は3つまで)

多摩区では「親族」の割合が78.7%と最も高くなっています。また、「友人・知人」の割合が市全体を3.8ポイント上回っています。

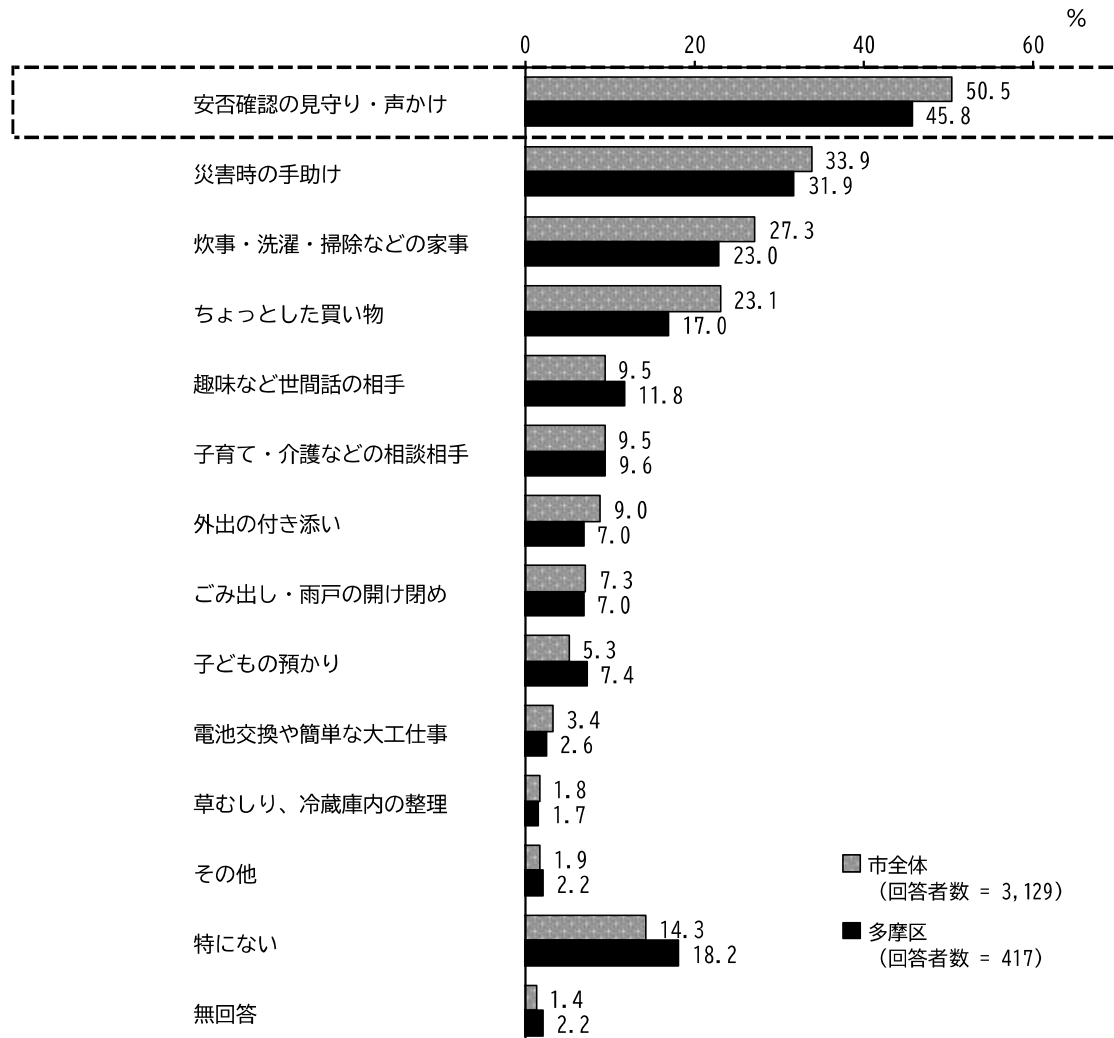


【参考】



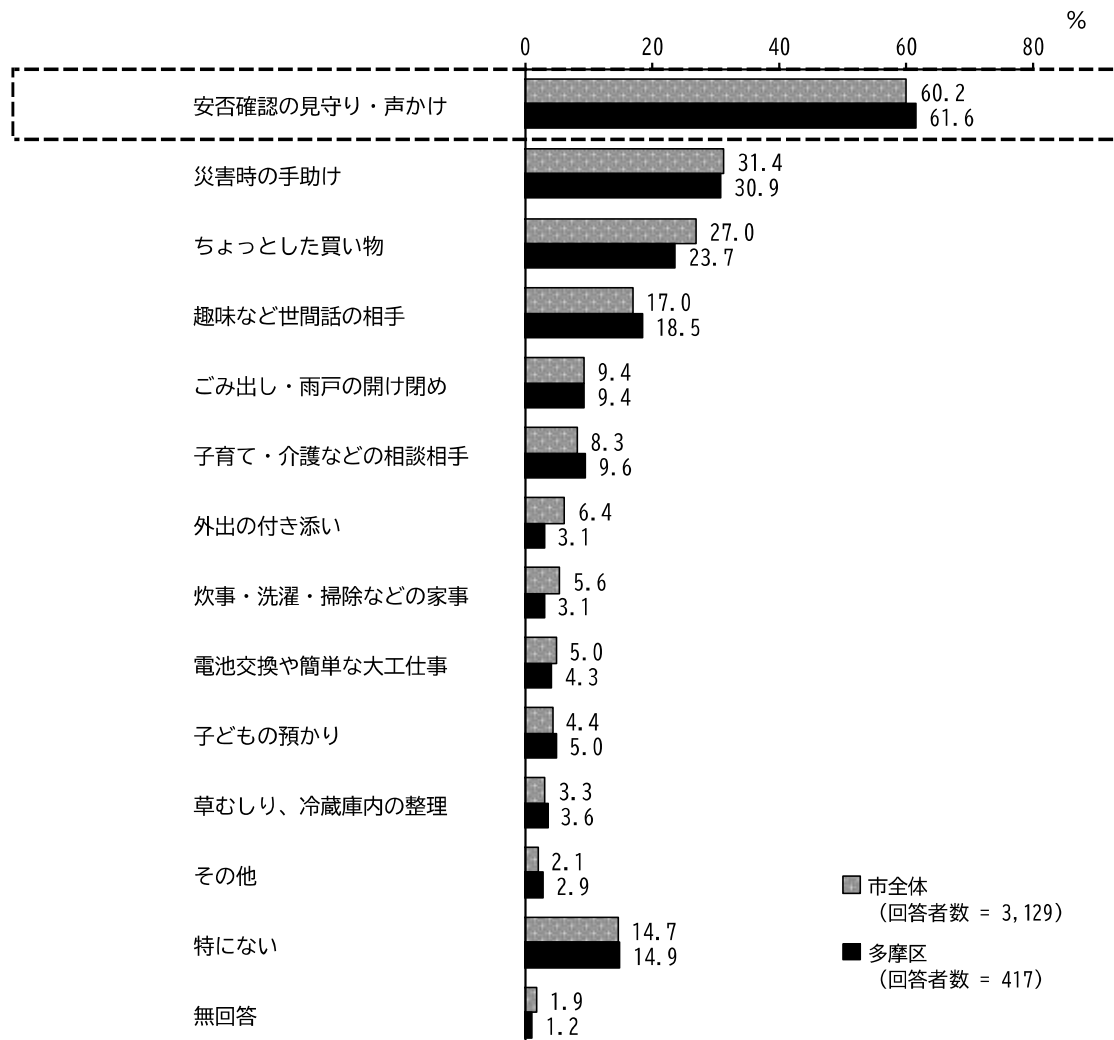
問 22 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(〇は3つまで)

多摩区では「安否確認の見守り・声かけ」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が 31.9%となっています。



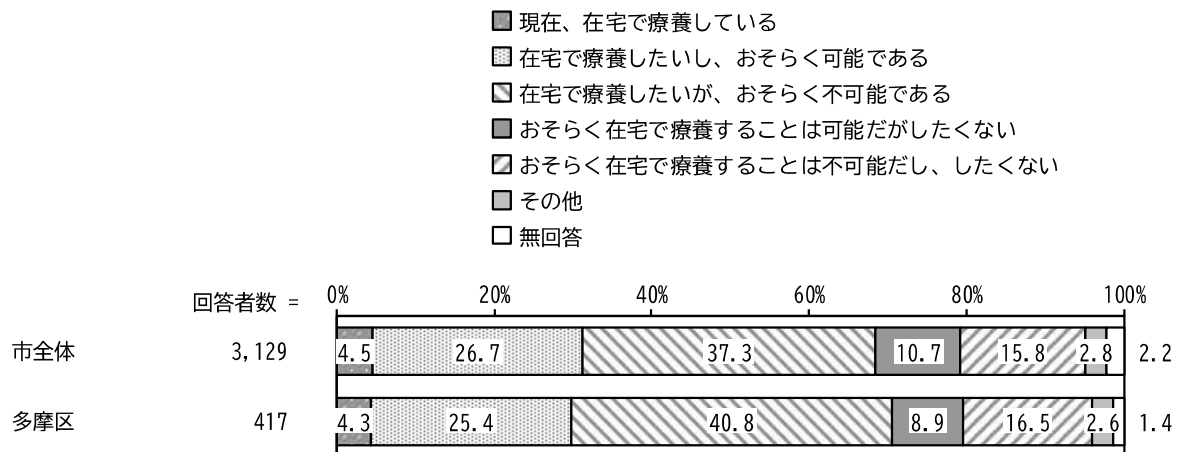
問 23 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の
支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(〇は3つまで)

多摩区では「安否確認の見守り・声かけ」の割合が 61.6%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が 30.9%となっています。



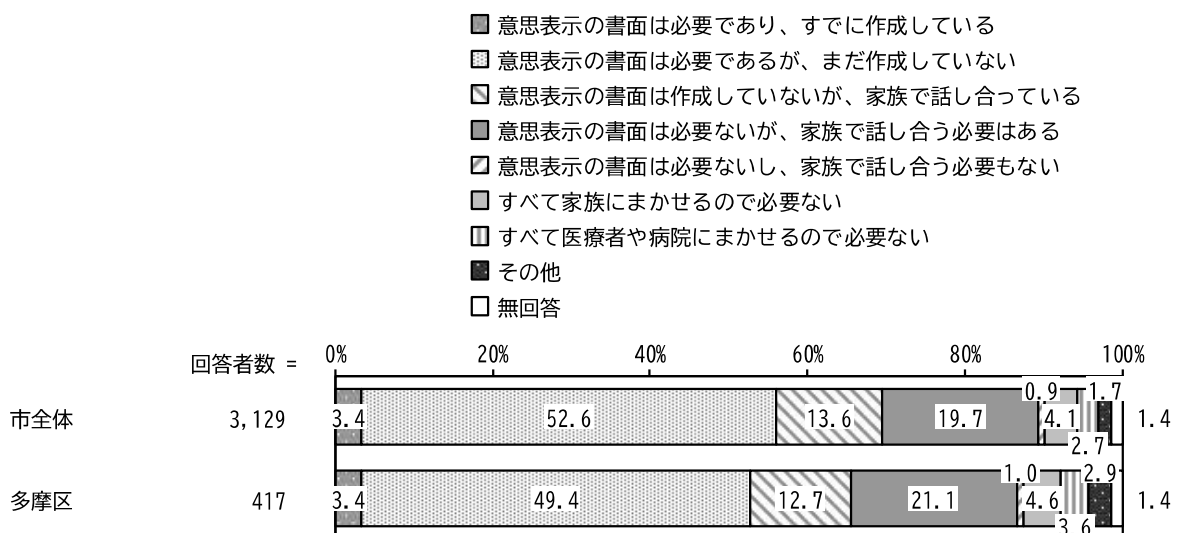
問 24 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。(○は1つだけ)

多摩区では「在宅で療養したいが、おそらく不可能である」の割合が 40.8%と最も高く、市全体を 3.5 ポイント上回っています。



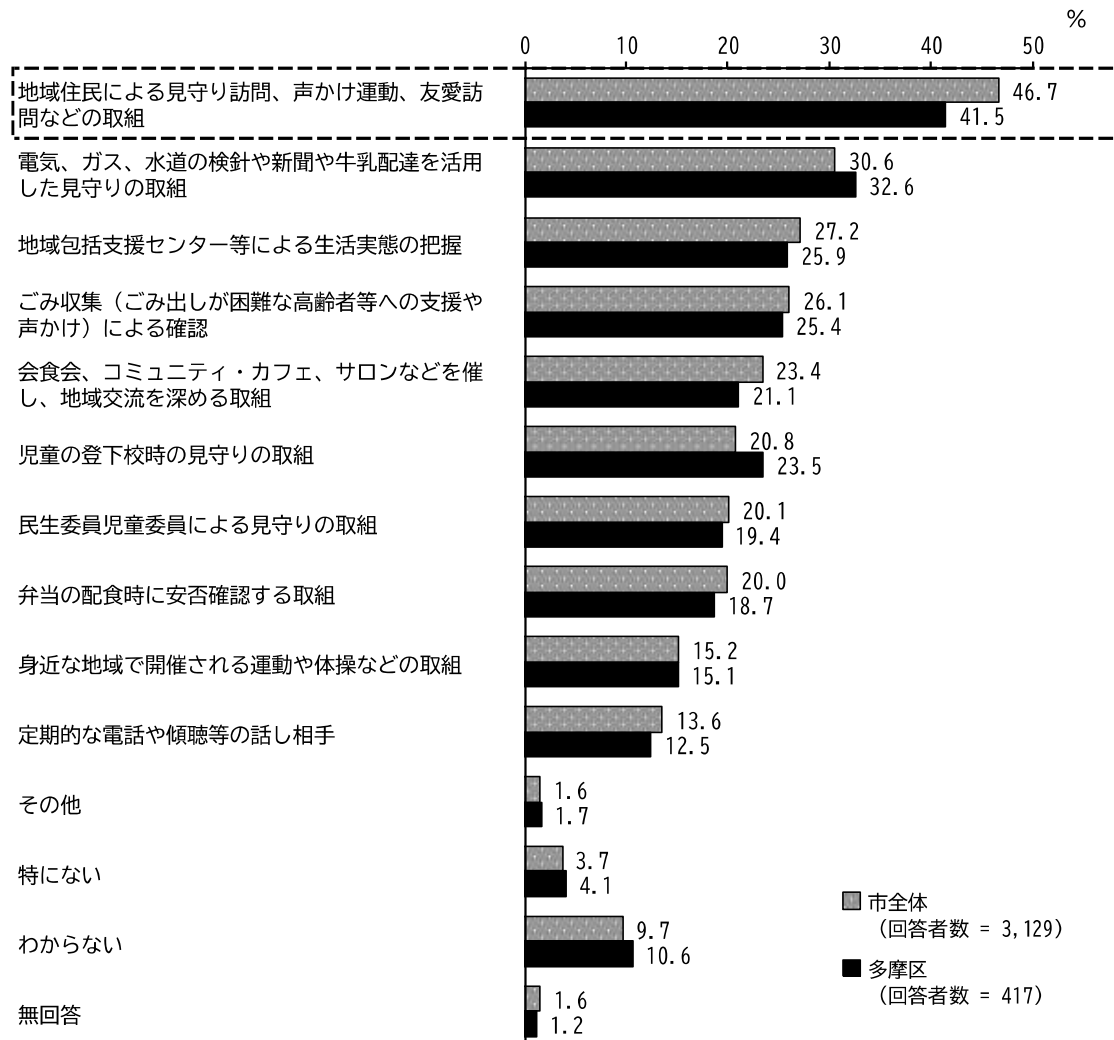
問 25 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。(○は1つだけ)

多摩区では「意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある」の割合が 21.1%、「意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている」の割合が 12.7%となっています。



問 26 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。(〇は5つまで)

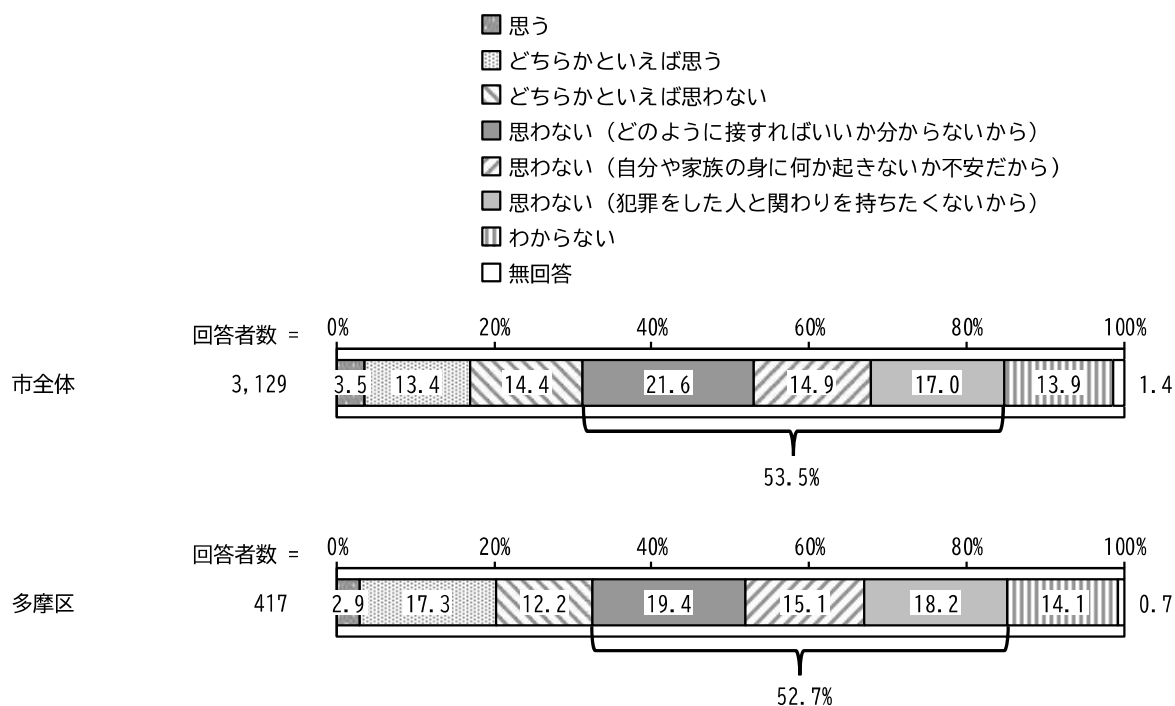
多摩区では「地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組」の割合が 32.6%、「地域包括支援センター等による生活実態の把握」の割合が 25.9%となっています。



(4) 地域共生社会について

問 27 あなたは犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(○は1つだけ)

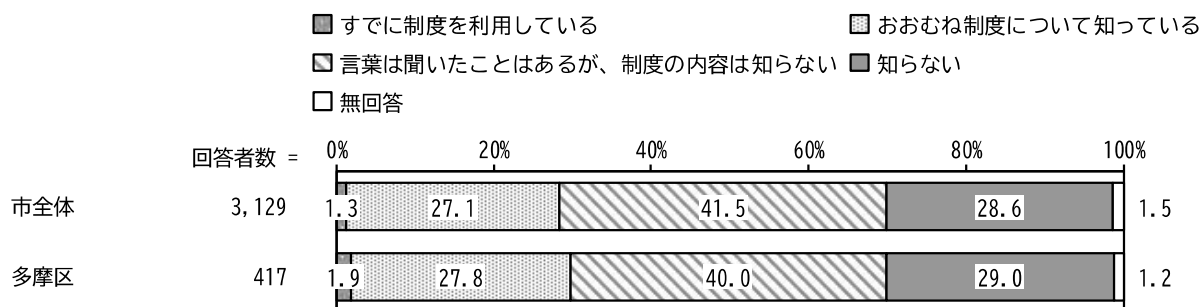
「思わない」と回答した人の合計割合は、市全体と同じく5割を超えています。



(5) 認知症について

問 28 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つだけ)

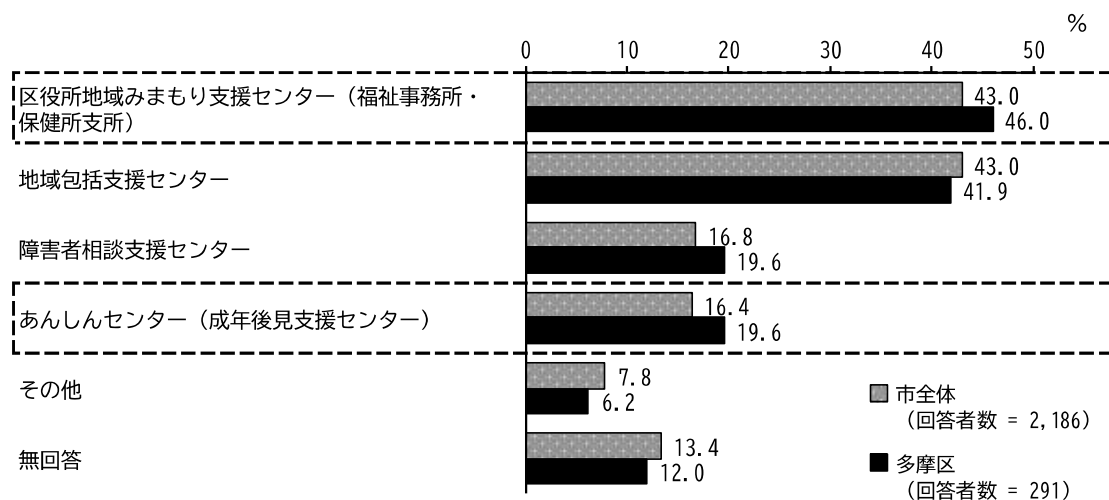
多摩区では「すでに制度を利用している」の割合が 1.9%、「おおむね制度について知っている」の割合が 27.8%、「言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない」の割合が 40.0%となっています。



《成年後見制度を利用及び認知している人が対象》

問 28-1 制度の相談窓口となっている機関で知っているものはどれですか。 (あてはまるものすべてに○)

多摩区では「区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）」の割合が 46.0%と最も高くなっています。また、「あんしんセンター（成年後見支援センター）」の割合が市全体を 3.2 ポイント上回っています。



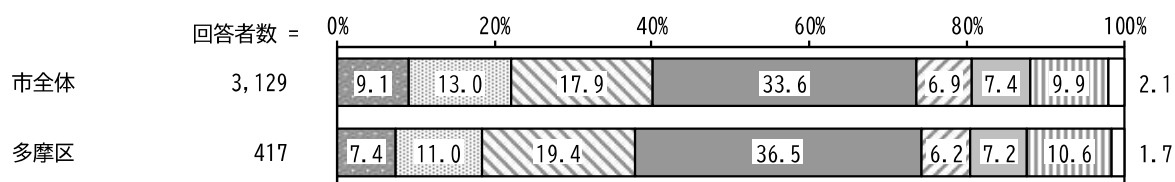
問 29 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。(○は1つだけ)

多摩区では「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」というイメージの割合が 36.5%と最も高く、市全体を 2.9 ポイント上回っています。

- ☐ 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活でき家族や医療・介護などのサポートを利用すれば、自立した生活を送ることができる
- ☐ 認知症になっても、自分だけでは十分できないことは周りの人のサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活ができる
- ☐ 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
- ☐ 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
- ☒ 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
- ☐ 認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう

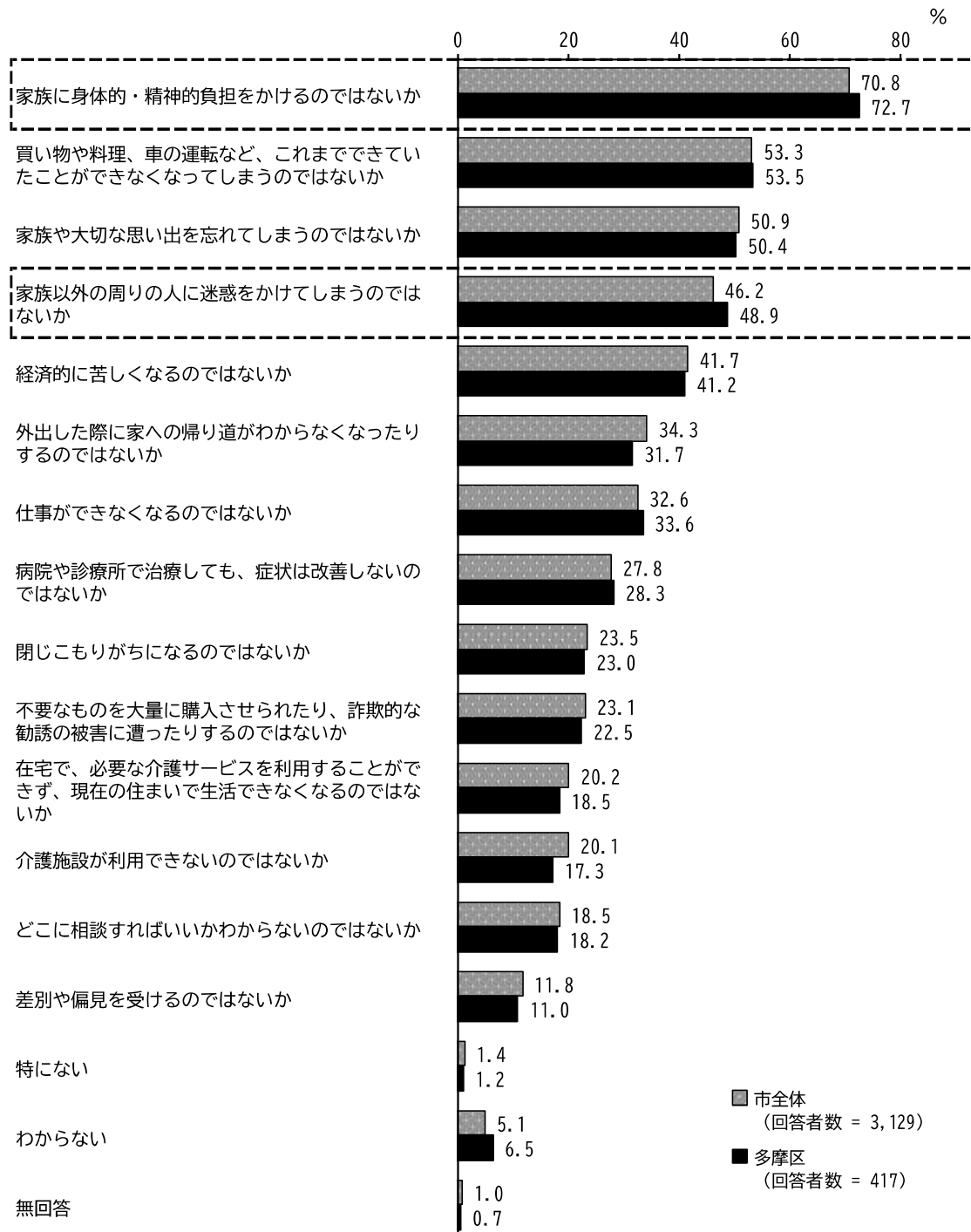
☐ わからない

☐ 無回答



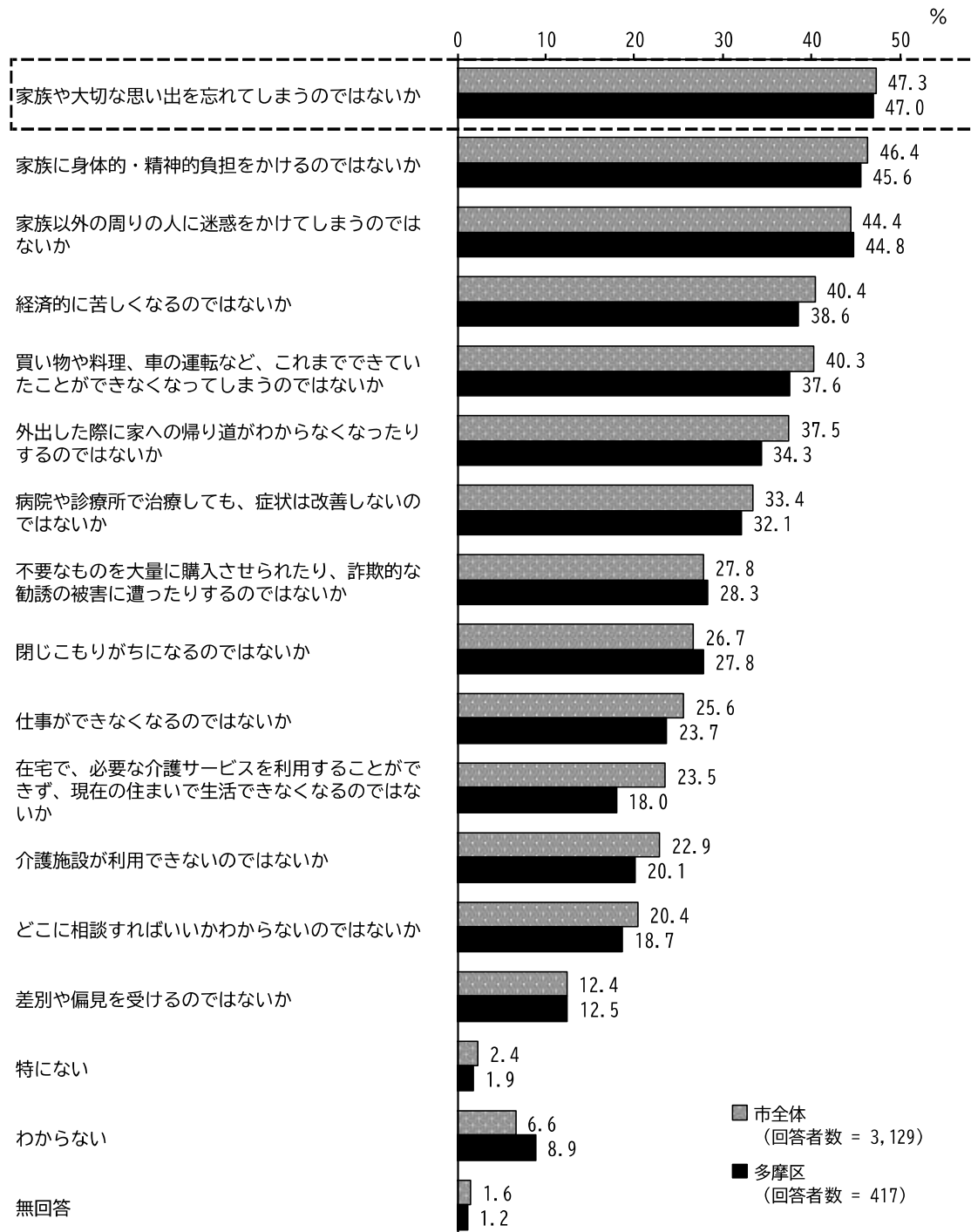
問 30 もし、あなたご自身が認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」の割合が 72.7%と最も高くなっています。また、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」の割合が市全体を 2.7 ポイント上回っています。



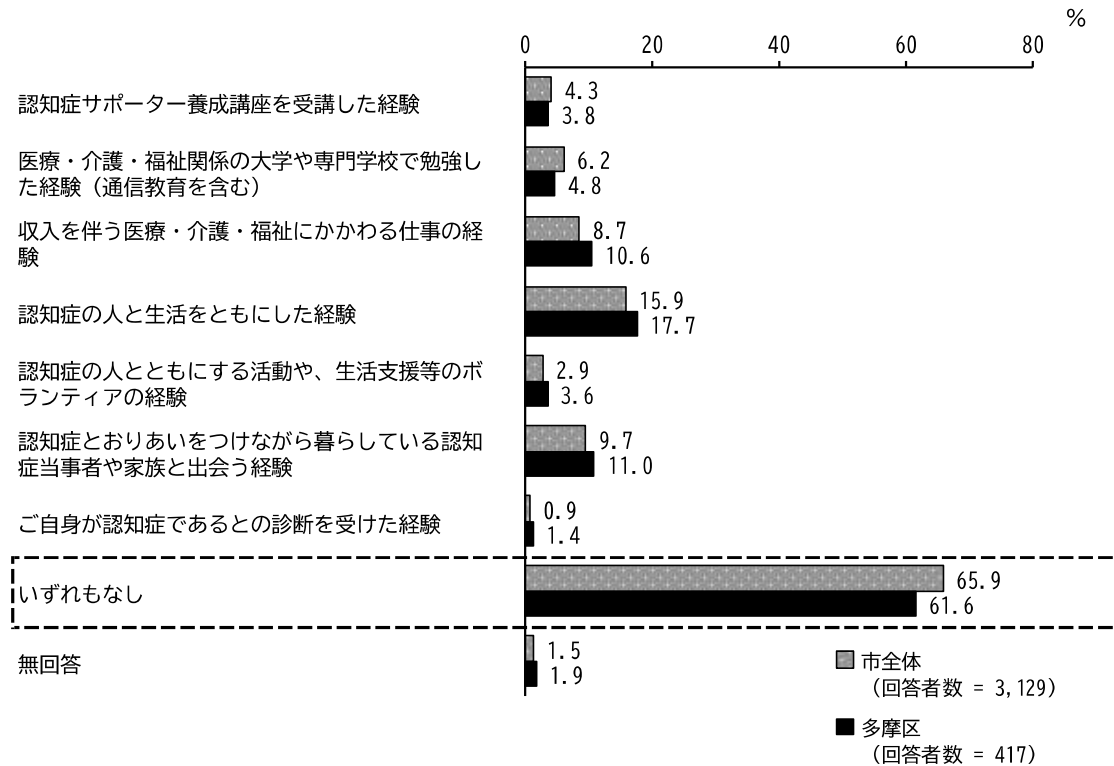
問 31 もし、あなたの家族が認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」の割合が 45.6%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」の割合が 44.8%となっています。



問 32 認知症に関する学びの経験として、「あなたご自身」の経験としてあてはまるものを全て選択してください。あてはまるものがない場合は「いずれもなし」を選択してください。（あてはまるものすべてに○）

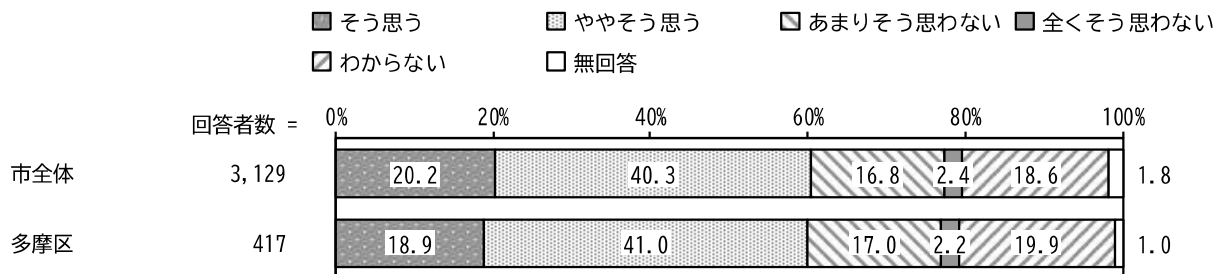
多摩区では「いずれもなし」の割合が 61.6%と最も高くなっています。



問 33 認知症に関するあなたの考え方について、下記の項目で最も近いものを選択してください。(○はそれぞれ1つだけ)

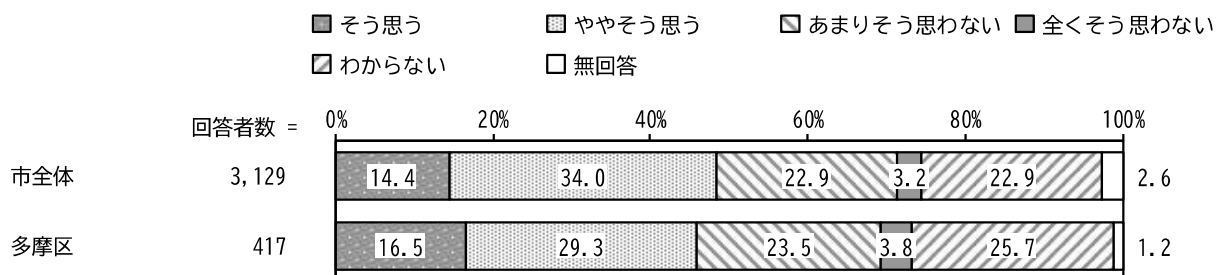
1. 認知症の人が困っていたら、迷わず手を貸せる

多摩区では「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 59.9%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 19.2%となっています。



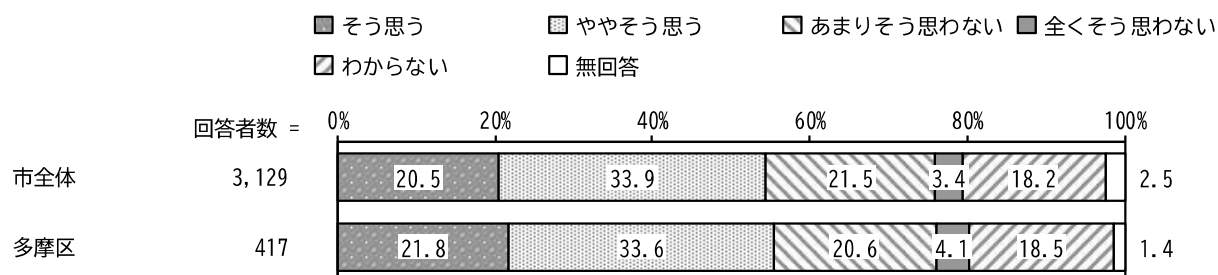
2. 認知症の人と喜びや楽しみを分かち合える

多摩区では「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 45.8%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 27.3%となっています。



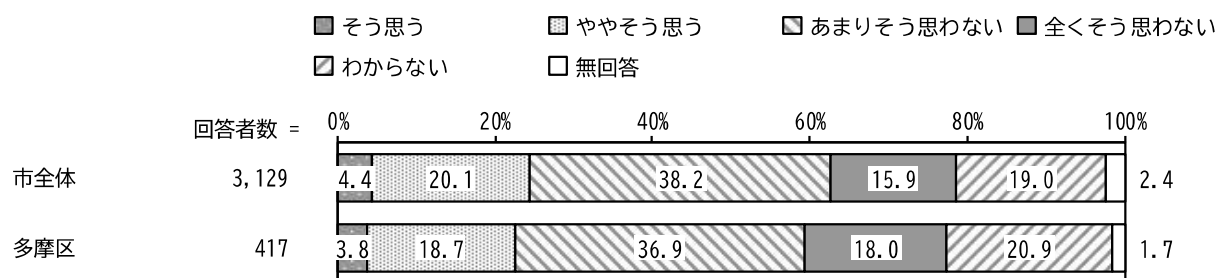
3. 認知症の人と躊躇なく話せる

多摩区では「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 55.4%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 24.7%となっています。



4. 認知症の人とはできる限り関わりたくない

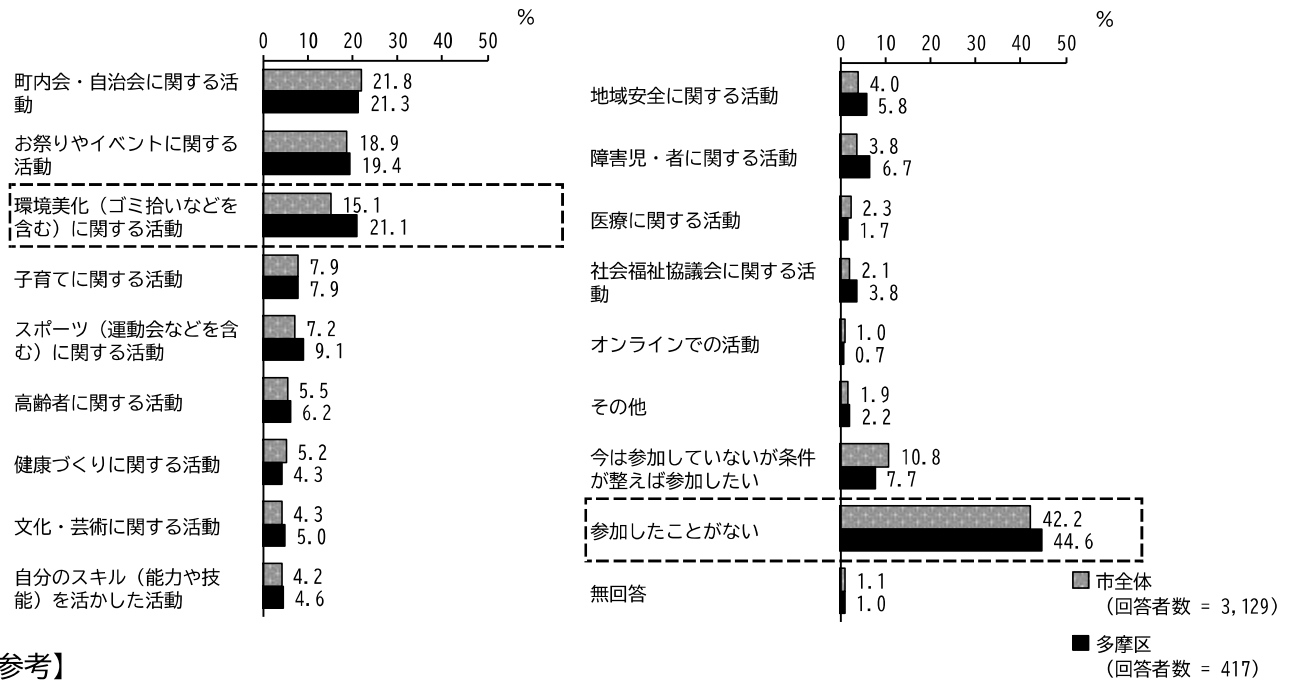
多摩区では「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 22.5%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 54.9%となっています。



(6) 地域活動やボランティア活動について

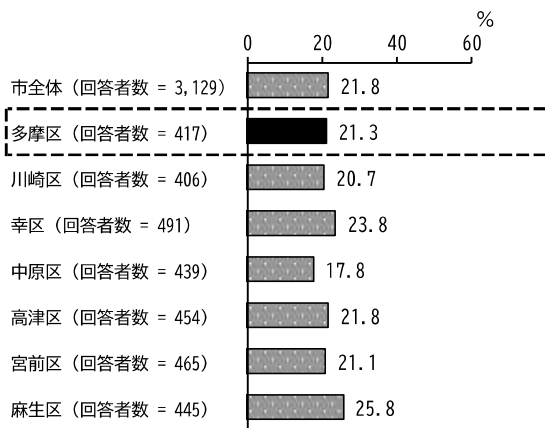
問 34 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「参加したことがない」の割合が 44.6%で最も高く、次いで「町内会・自治会に関する活動」の割合が 21.3%となっています。また、「環境美化（ゴミ拾いなどを含む）に関する活動」の割合が市全体を 6.0 ポイント上回っています。

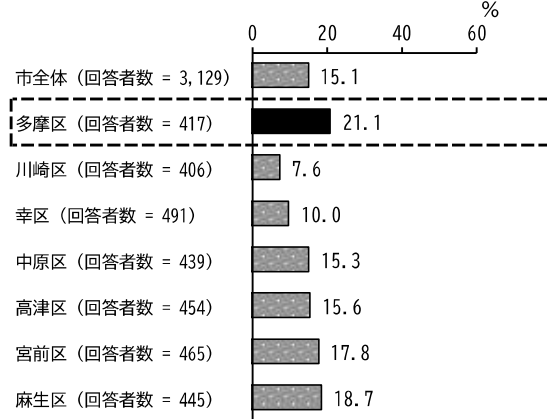


【参考】

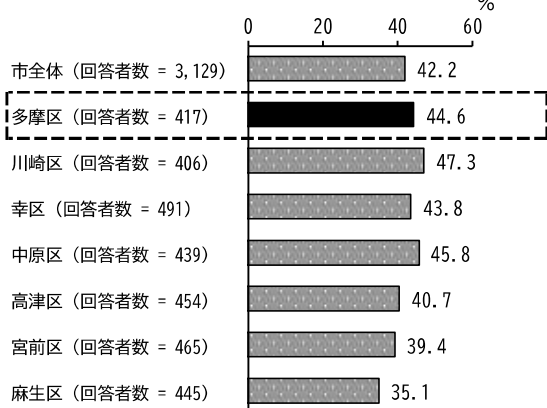
町内会・自治会に関する活動



環境美化（ゴミ拾いなどを含む）に関する活動



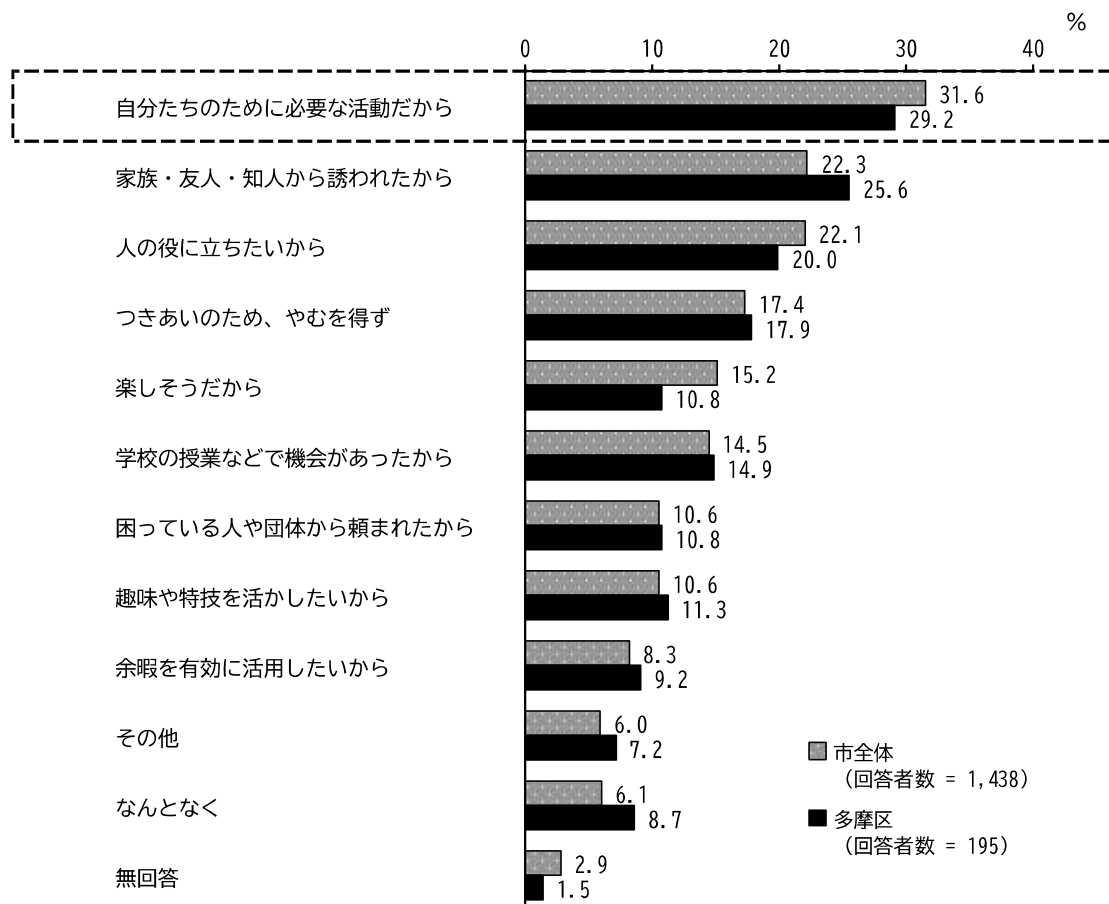
参加したことがない



«「地域活動やボランティア活動に参加したことがある」人が対象»

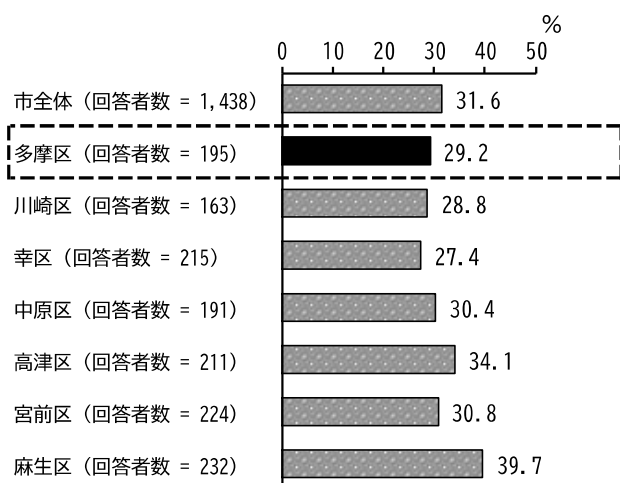
問 34－1 活動に参加した動機やきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「自分たちのために必要な活動だから」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「家族・友人・知人から誘われたから」の割合が 25.6%となっています。



【参考】

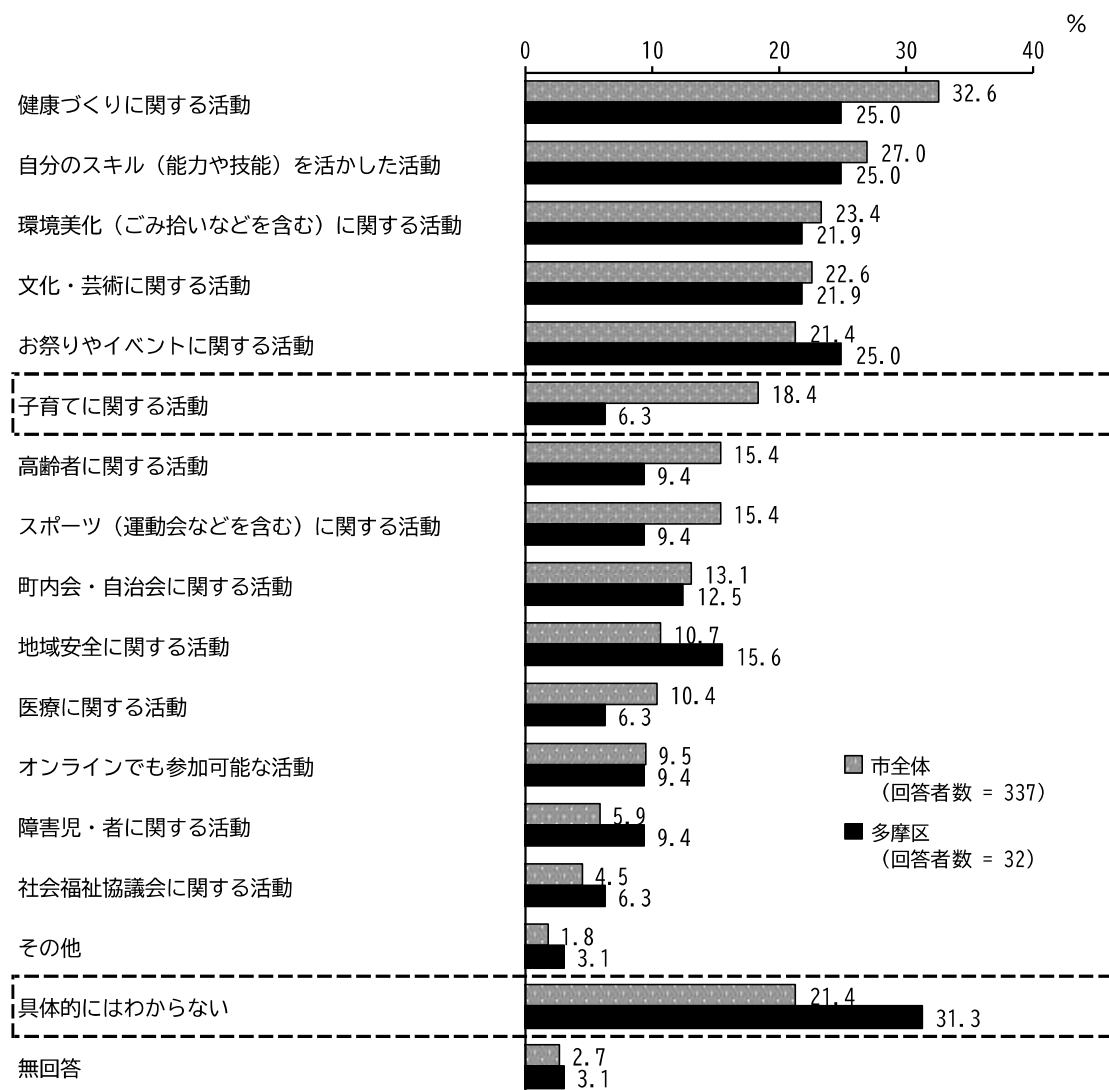
自分たちのために必要な活動だから



「地域活動やボランティア活動に「今は参加していないが条件が整えば参加したい」と回答した人が対象」

問 34－2 あなたは、今後どのような活動なら参加したいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

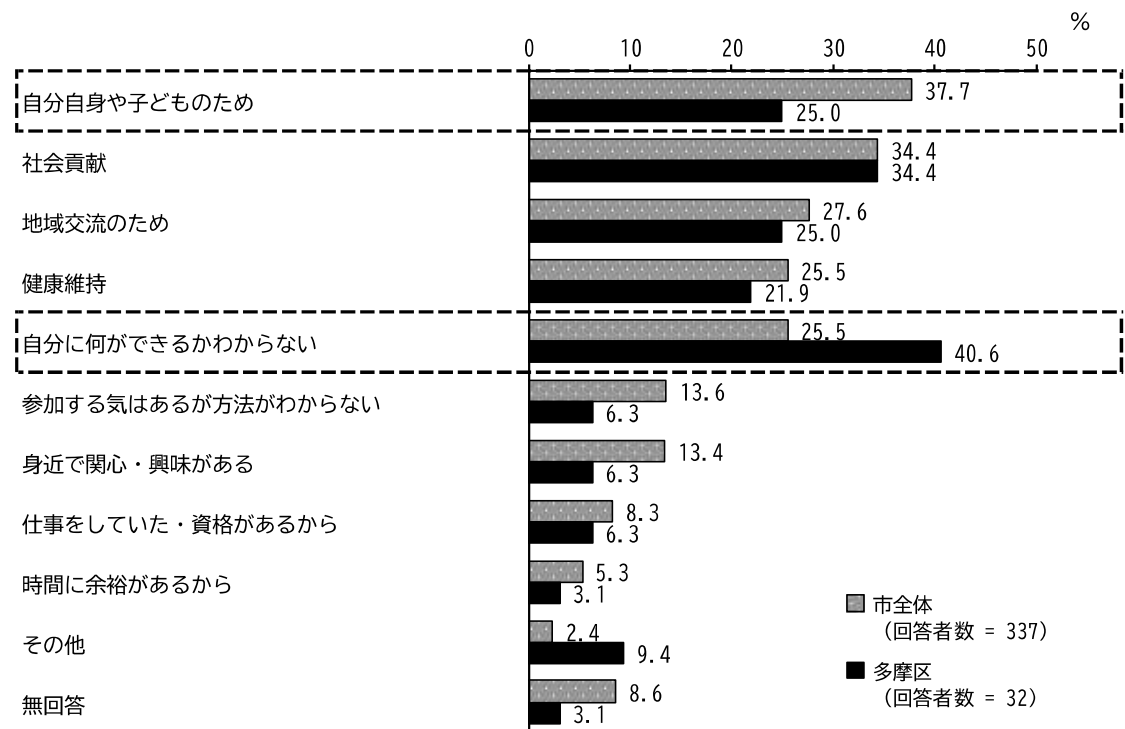
多摩区では「具体的にはわからない」の割合が 31.3%で最も高く、次いで「健康づくりに関する活動」「自分のスキル（能力や技能）を活かした活動」「お祭りやイベントに関する活動」の割合が 25.0%となっています。また、「子育てに関する活動」の割合が市全体を 12.1 ポイント下回っています。



「地域活動やボランティア活動に「今は参加していないが条件が整えば参加したい」と回答した人が対象」

問 34－3 その理由は何ですか。具体的にお書きください。
(あてはまるものすべてに○)

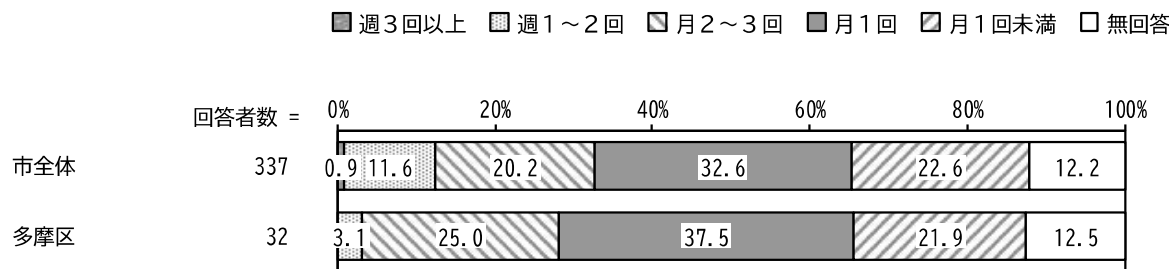
多摩区では「自分に何ができるかわからない」の割合が 40.6%と最も高くなっており、市全体を 15.1 ポイント上回っています。また、「自分自身や子どものため」の割合が市全体を 12.7 ポイント下回っています。



「地域活動やボランティア活動に「今は参加していないが条件が整えば参加したい」と回答した人が対象」

問 34－4 参加される場合、活動可能な日数はどのくらいですか。(○は1つだけ)

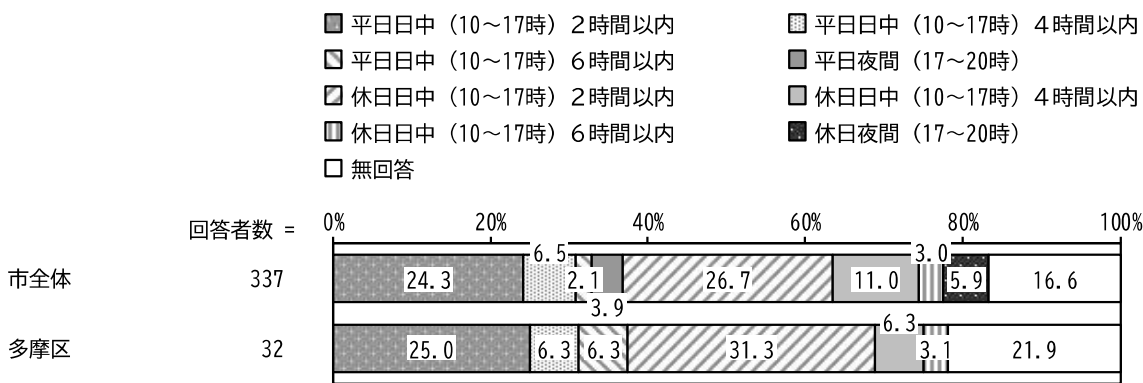
多摩区では「月1回」の割合が 37.5%と最も高くなっています。また、「週1～2回」の割合が市全体を 8.5 ポイント下回っており、「月1回」の割合が市全体を 4.9 ポイント上回っています。



「地域活動やボランティア活動に「今は参加していないが条件が整えば参加したい」と回答した人が対象」

問 34－ 5 オンラインでの活動も含めて、参加される場合、活動可能な時間はどのくらいですか。（○は1 つだけ）

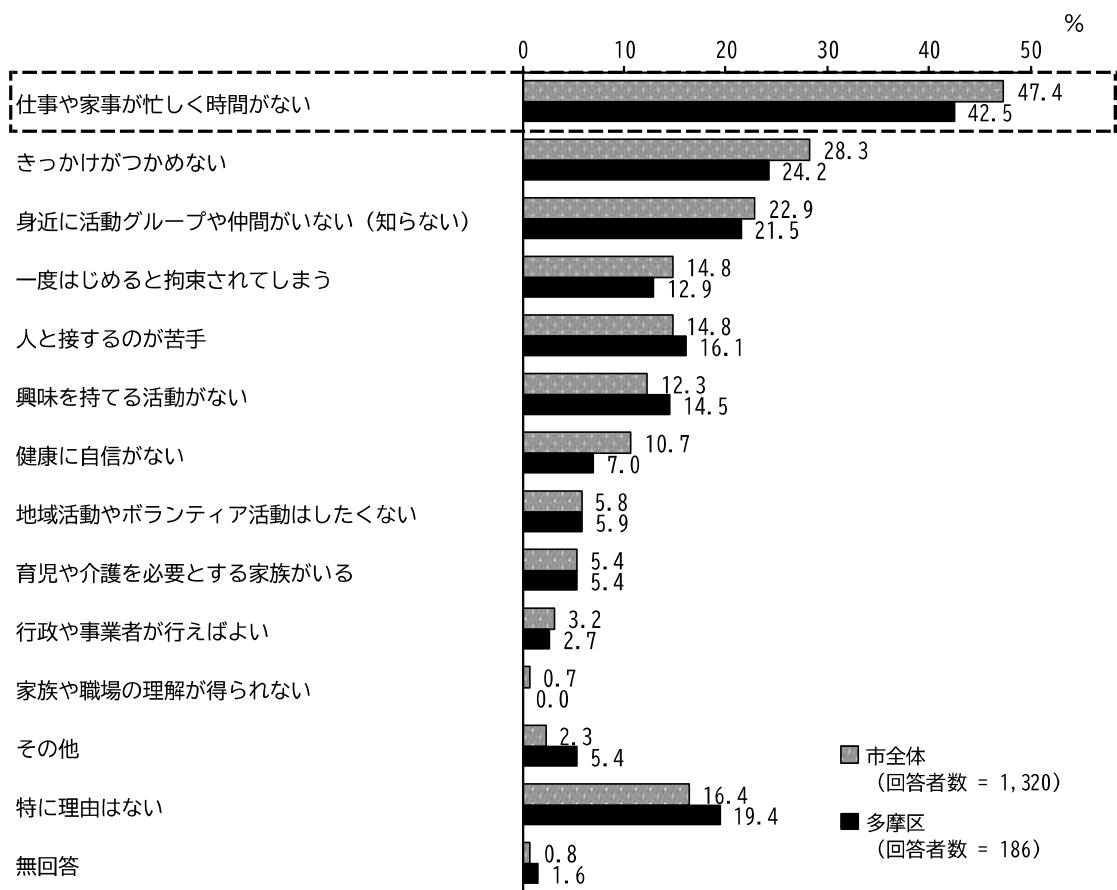
多摩区では「休日日中（10～17 時）2 時間以内」の割合が 31.3%と最も高くなっています。また、「休日夜間（17～20 時）」の割合が市全体を 5.9 ポイント下回っており、「休日日中（10～17 時）2 時間以内」の割合が市全体を 4.6 ポイント上回っています。



「地域活動やボランティア活動に「参加したことがない」と回答した人が対象」

問 34－ 6 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

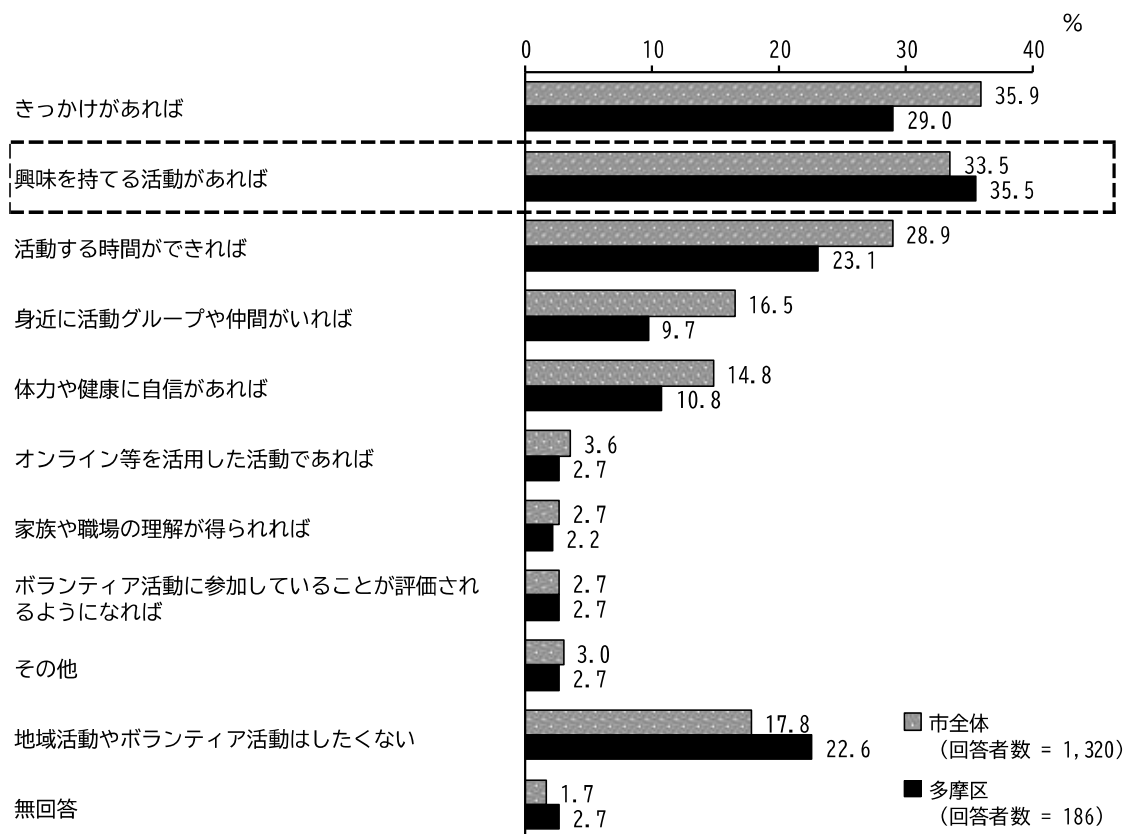
多摩区では「仕事や家事が忙しく時間がない」の割合が 42.5%と最も高くなっています。



《地域活動やボランティア活動に「参加したことがない」と回答した人が対象》

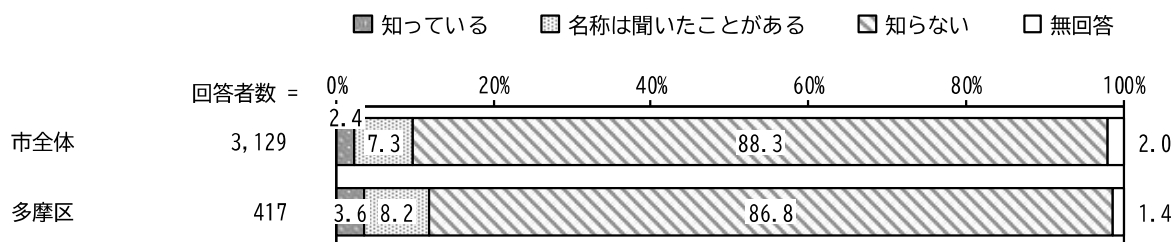
問 34－7 あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

多摩区では「興味を持てる活動があれば」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「きっかけがあれば」の割合が 29.0%となっています。



問 35 身近な地域で様々な人や活動同士のつながりが生まれるように、相談やコーディネート、場づくり支援などを通じて、地域課題の解決につながるような多様な主体のネットワークを目指して取り組む、各区にある「ソーシャルデザインセンター」の名称や活動について、あてはまるものをお答えください。（○は1つだけ）

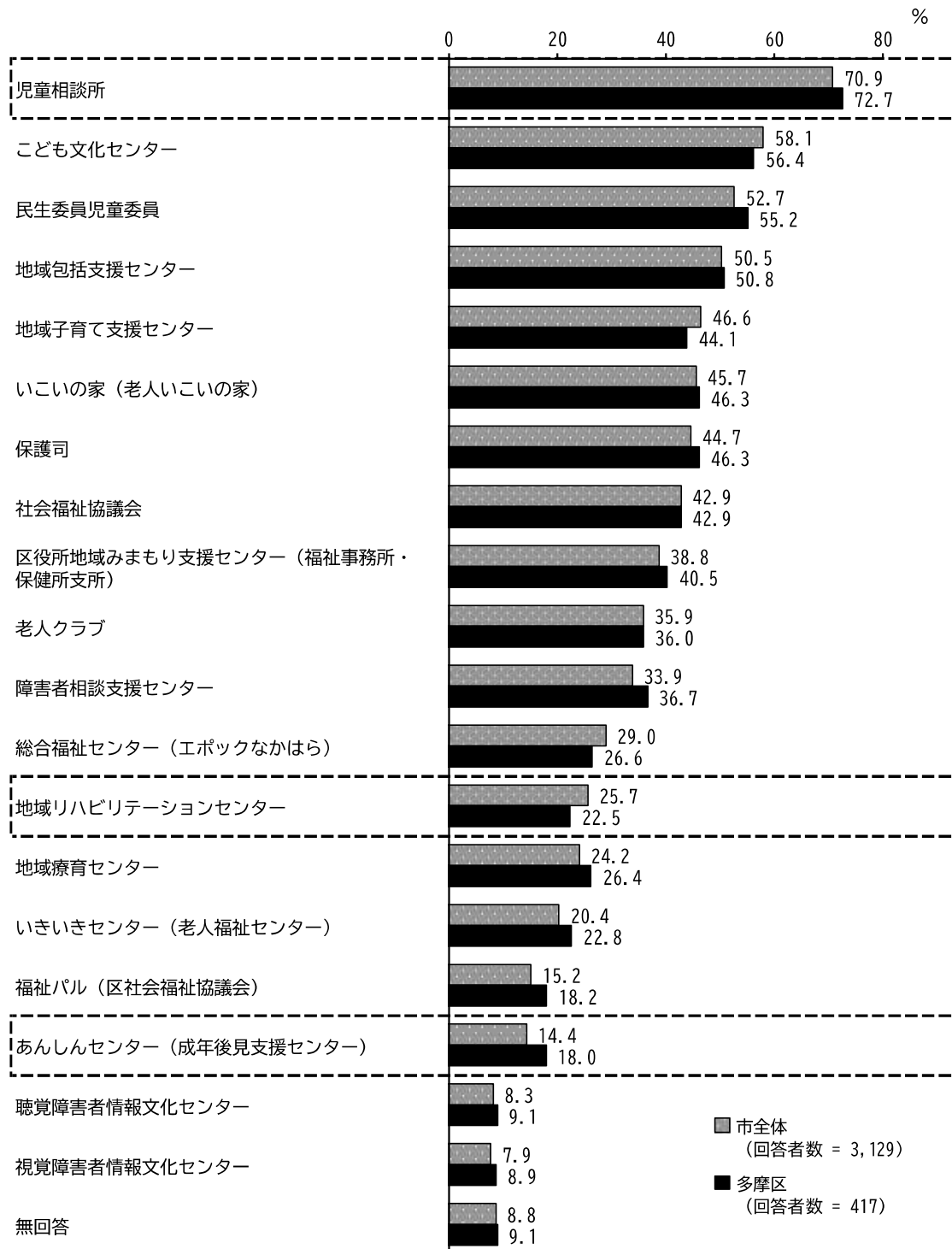
多摩区では「知っている」の割合が 3.6%、「名称は聞いたことがある」の割合が 8.2%、「知らない」の割合が 86.8%となっています。



(7) 保健・福祉に関することについて

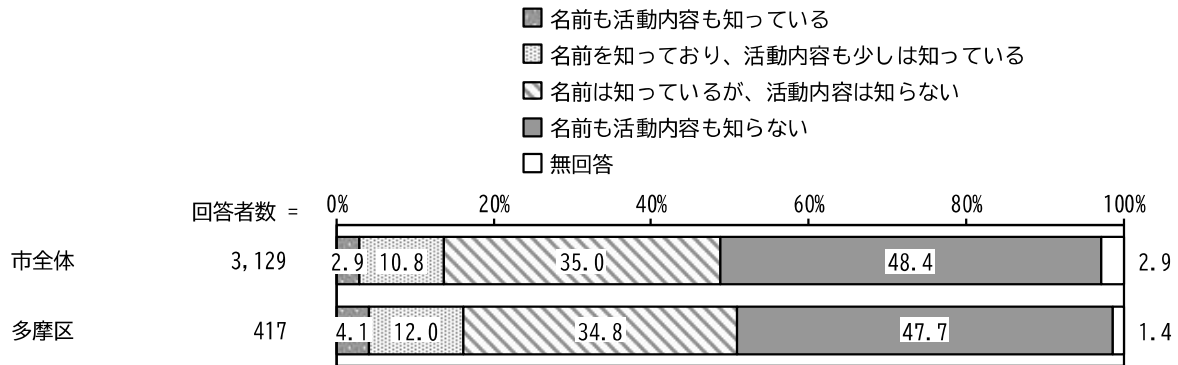
問 36 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等を知っていますか。
(○はそれぞれ1つだけ)

多摩区では「児童相談所」の割合が72.7%と最も高くなっています。また、「地域リハビリテーションセンター」が市全体を3.2ポイント下回っており、「あんしんセンター（成年後見支援センター）」の割合が市全体を3.6ポイント上回っています。



問 37 あなたは、地区・区社会福祉協議会についてどの程度知っていますか。
(○は1つだけ)

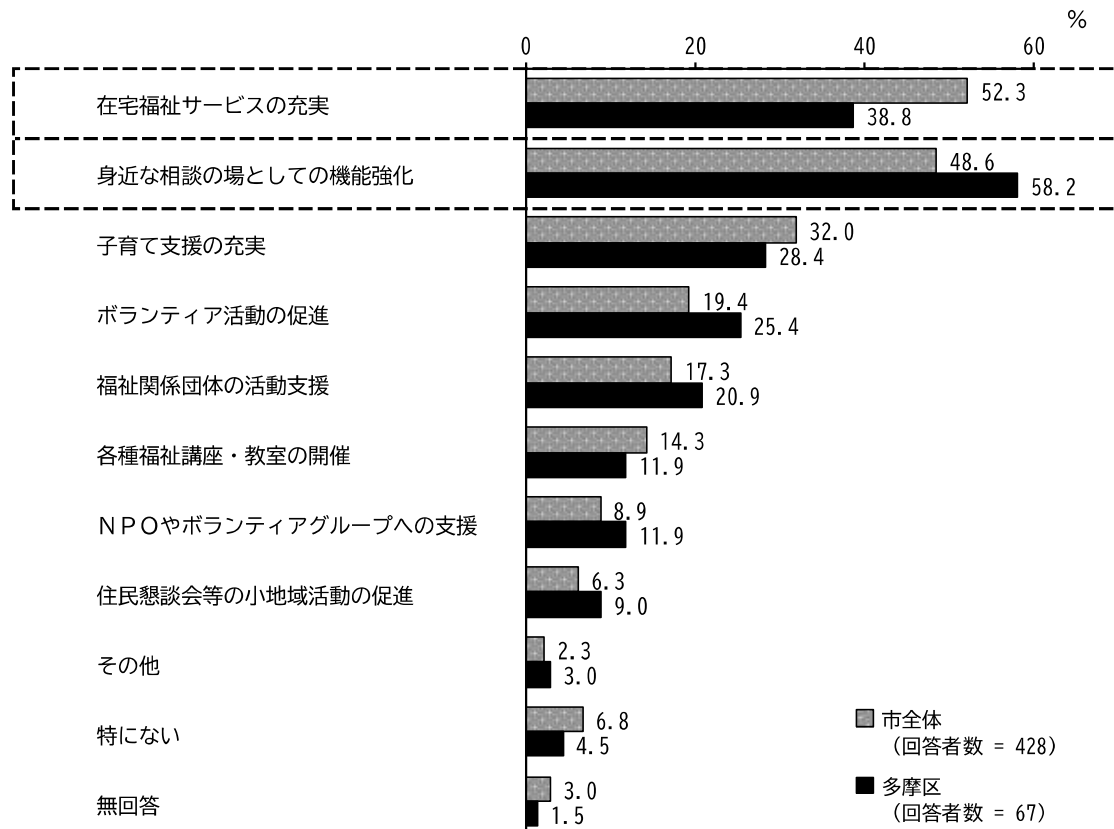
多摩区では「名前も活動内容も知らない」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「名前は知っているが、活動内容は知らない」の割合が 34.8%、「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」の割合が 12.0%となっています。



《地区・区社会福祉協議会の“名前も活動内容も知っている”“名前を知っており、活動内容も少しは知っている”人が対象》

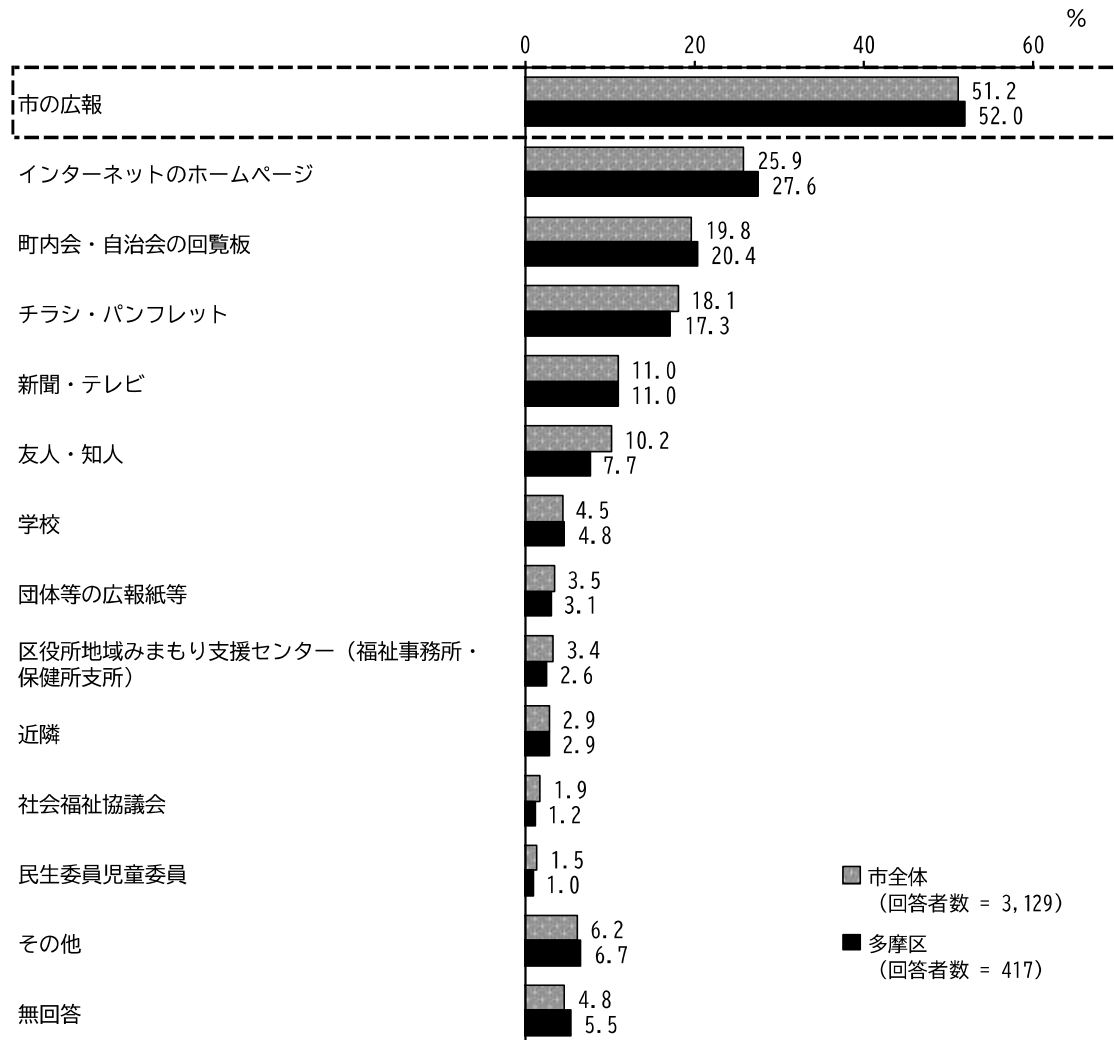
問 37-1 あなたは、地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待していますか。(○は3つまで)

多摩区では「身近な相談の場としての機能強化」の割合が 58.2%と最も高くなっており、市全体を 9.6 ポイント上回っています。また、「在宅福祉サービスの充実」が市全体を 13.5 ポイント下回っています。



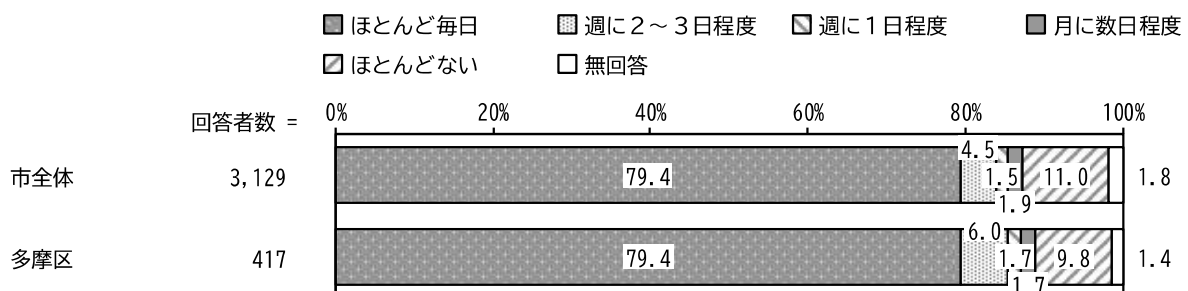
問 38 あなたは、保健や福祉の情報をどこから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「市の広報」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「インターネットのホームページ」の割合が 27.6%、「町内会・自治会の回覧板」の割合が 20.4%となっています。



問 39 あなたは、ふだんパソコンや携帯電話でインターネットにアクセスしたり、メールのやりとりをどのくらいしていますか。(○は1つだけ)

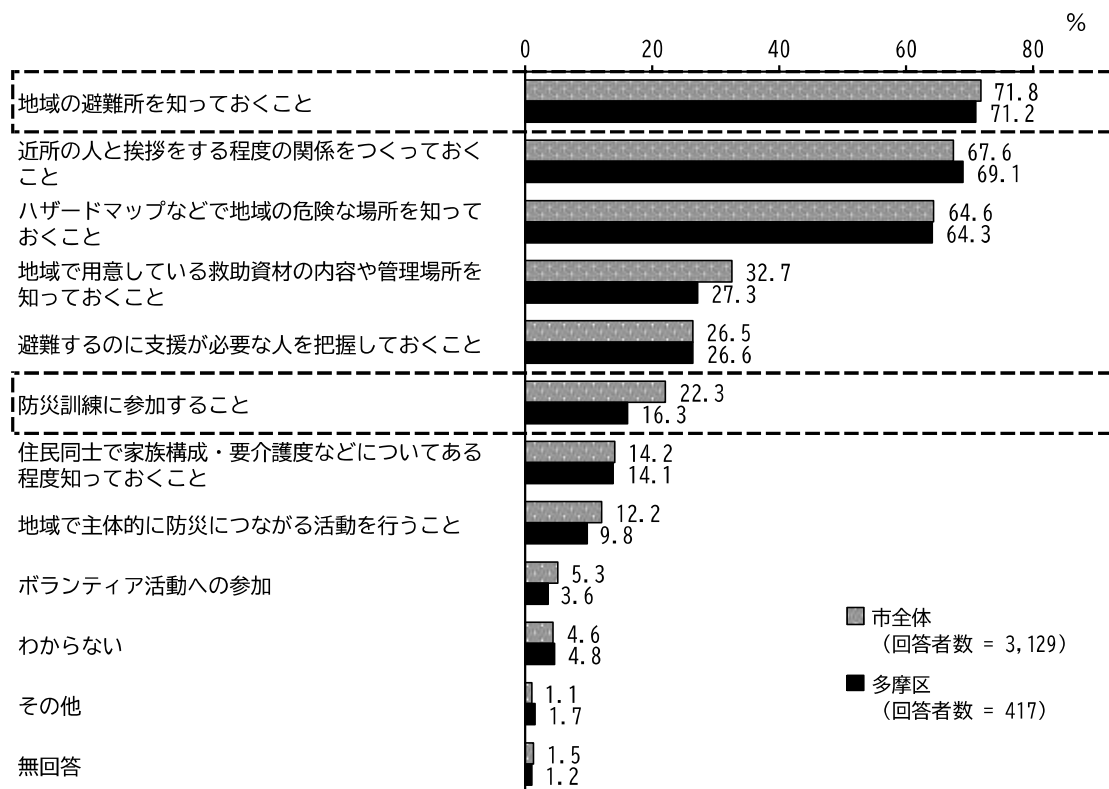
多摩区では「ほとんど毎日」の割合が 79.4%と最も高くなっています。



(8) 防災に対する意識と備えについて

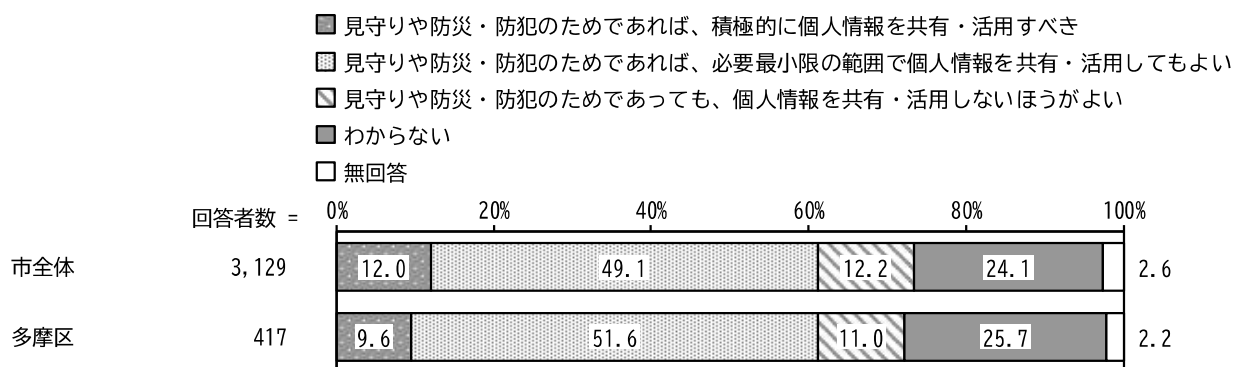
問 40 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「地域の避難所を知っておくこと」の割合が71.2%と最も高くなっています。また、「防災訓練に参加すること」が市全体を6.0ポイント下回っています。



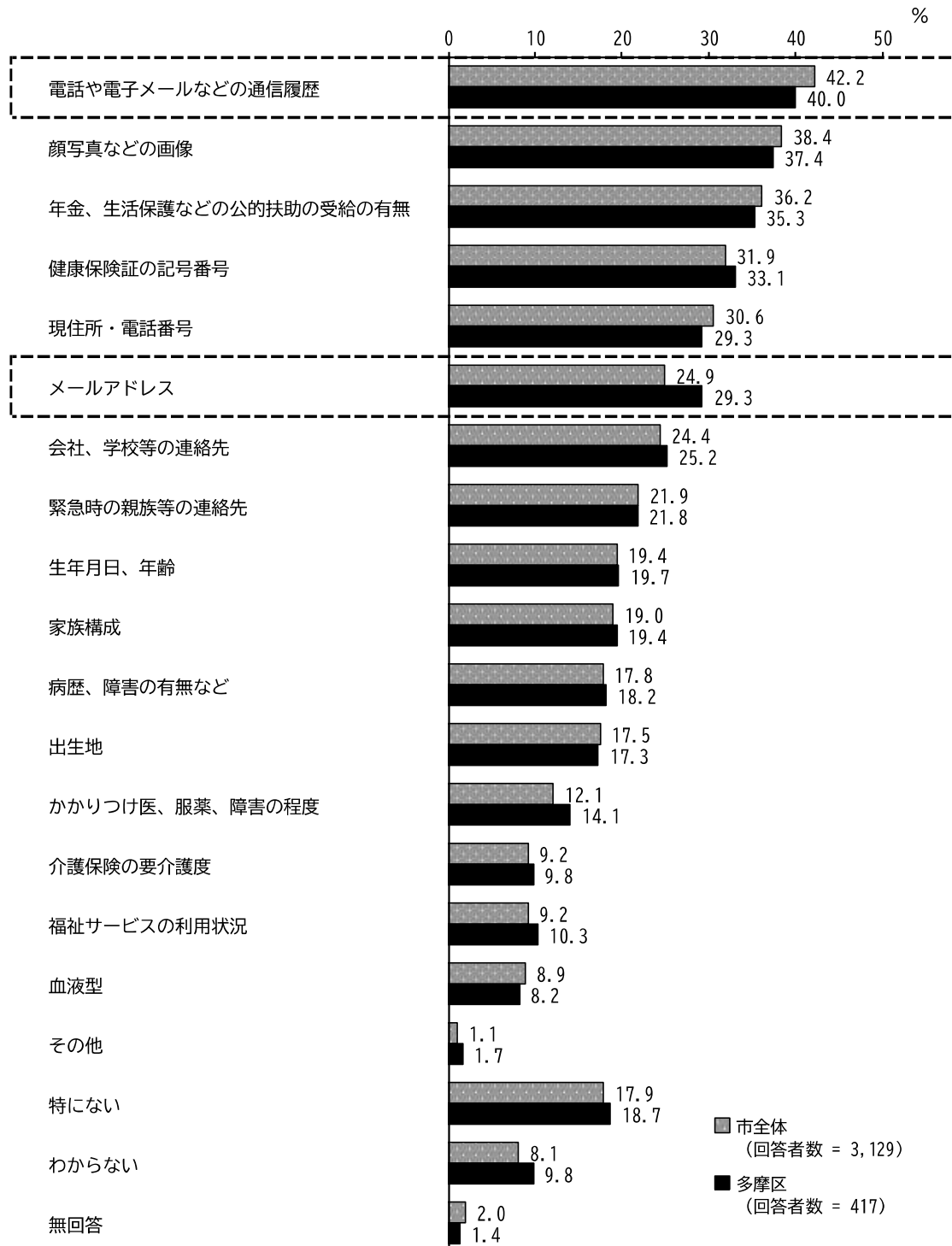
問 41 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。(○は1つだけ)

多摩区では「見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい」の割合が51.6%と最も高くなっています。



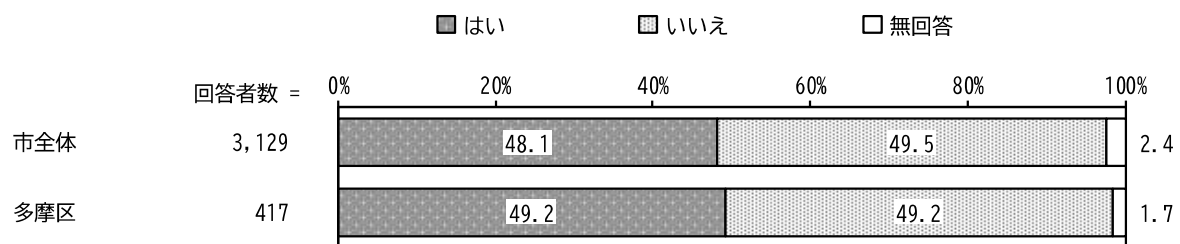
問 42 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたくないものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「電話や電子メールなどの通信履歴」の割合が 40.0%と最も高くなっています。また、「メールアドレス」の割合が市全体を 4.4 ポイント上回っています。



問 43 あなたは地震などの大きな災害が発生したときの対策として、家具転倒防止対策を行っていますか（○は1つだけ）

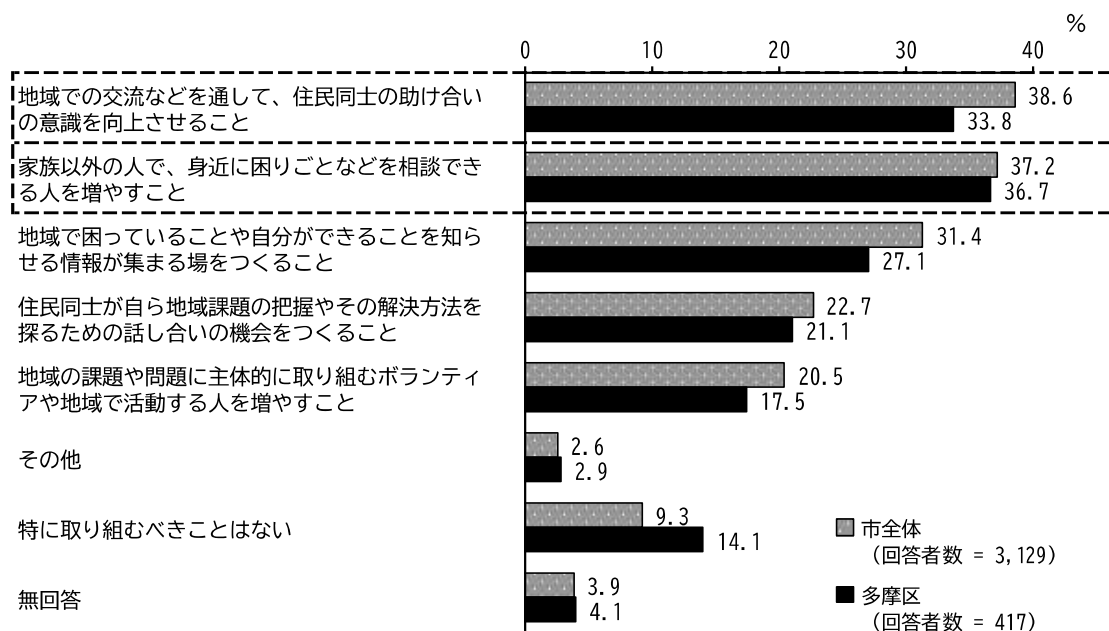
多摩区では「はい」、「いいえ」の割合が49.2%となっています。



(9) 今後の地域福祉の推進について

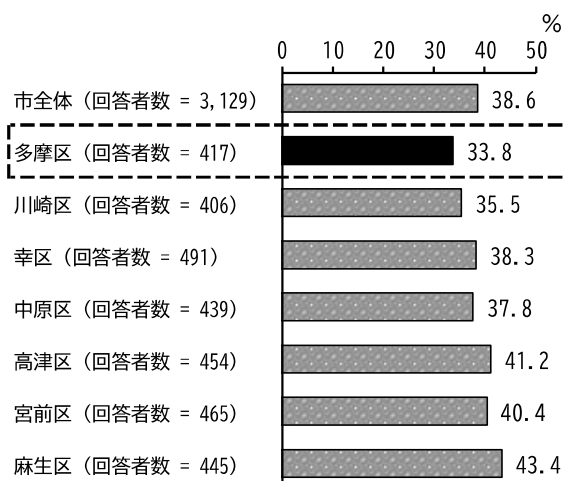
問 44 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

多摩区では「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」の割合が 36.7%と最も高くなっています。また、「地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」が市全体を 4.8 ポイント下回っています。

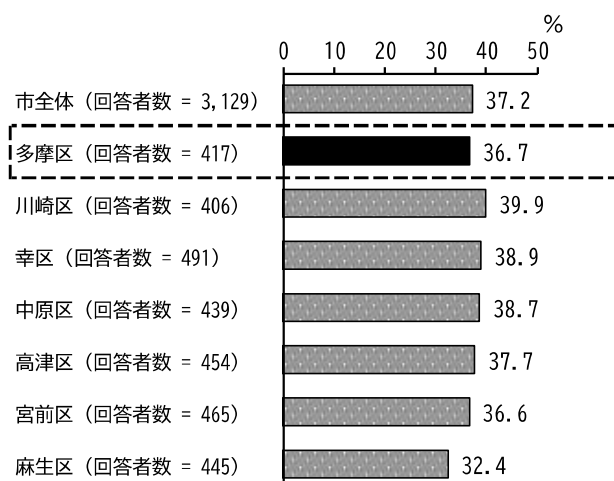


【参考】

地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること

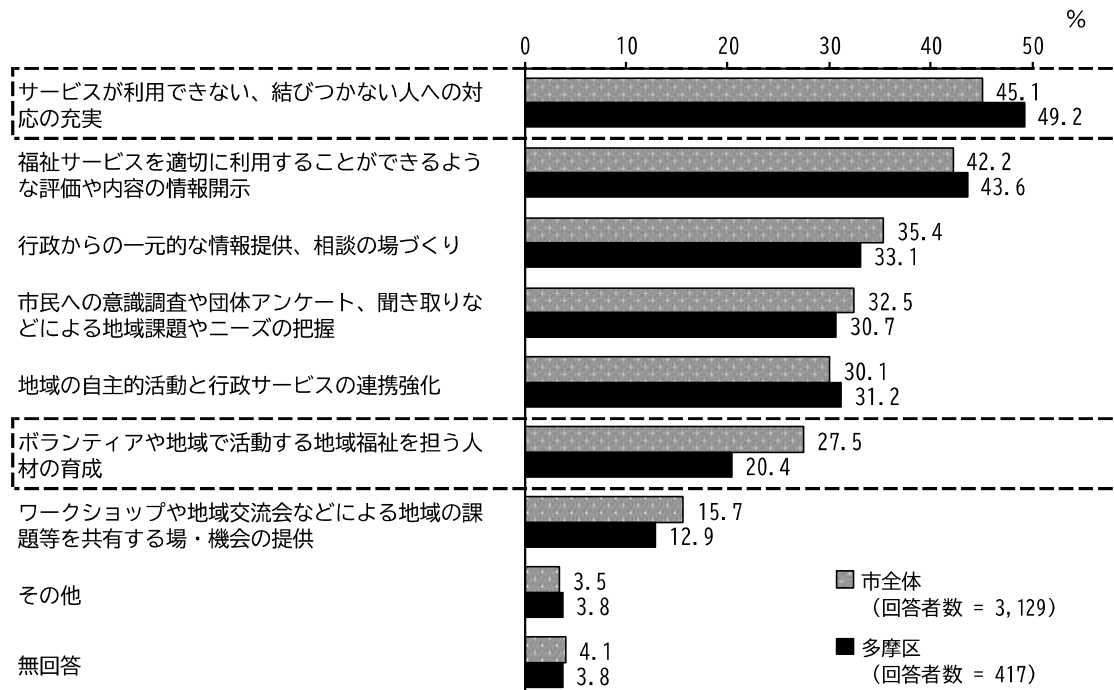


家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと



問 45 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

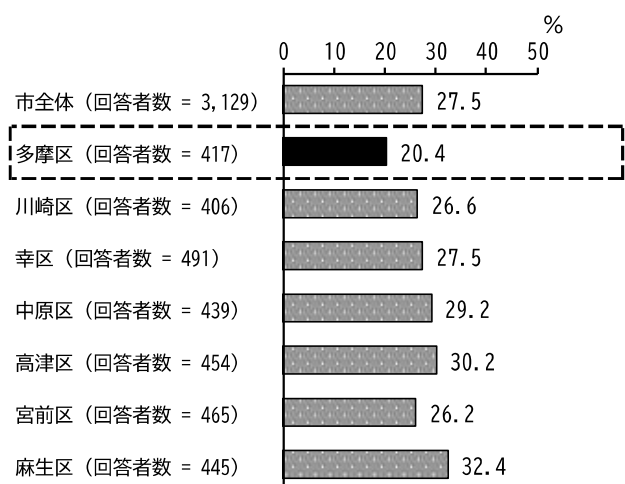
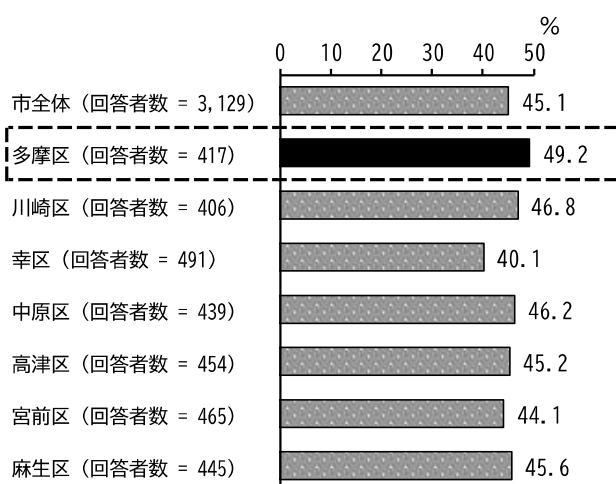
多摩区では「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」の割合が 49.2%と最も高くなっており、市全体を 4.1 ポイント上回っています。また、「ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成」が市全体を 7.1 ポイント下回っています。



【参考】

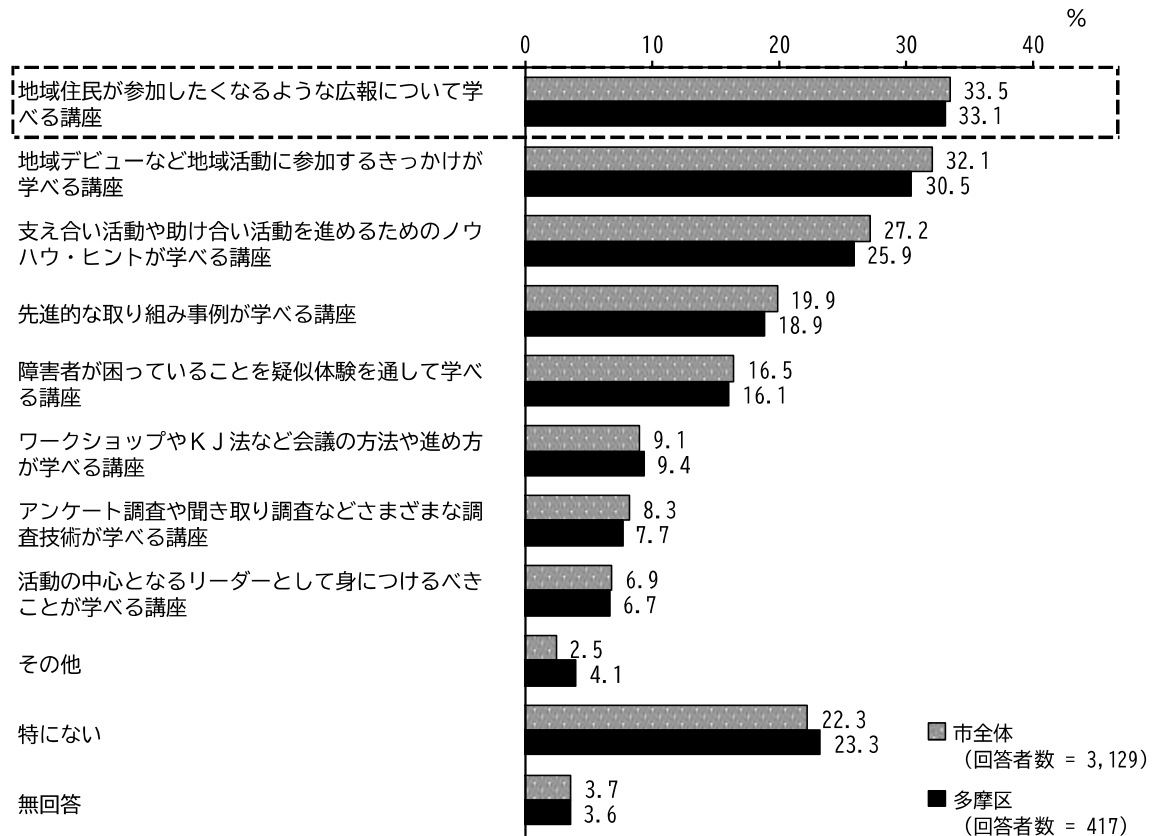
サービスが利用できない、
結びつかない人への対応の充実

ボランティアや地域で活動する
地域福祉を担う人材の育成



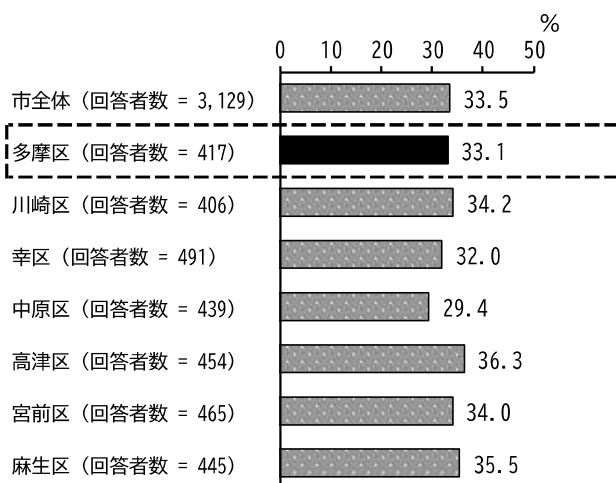
問 46 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

多摩区では「地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座」の割合が 30.5%、「支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座」の割合が 25.9%となっています。



【参考】

地域住民が参加したくなるような
広報について学べる講座



第7回川崎市地域福祉実態調査 報告書（多摩区版）

発行年月：令和8年3月

発 行：川崎市

編 集：川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電 話：044-200-2626

FAX：044-200-3926

E-mail：40keasui@city.kawasaki.jp